

## 第4章 求職者支援制度利用者の訓練後の状況・感想(訓練後調査結果)

### 1. 訓練後の状況

#### (1) 全般的傾向

図表4-1に訓練後の状況に関する結果を示した。訓練前調査に回答した6割弱が「訓練を最後まで受講し、求職活動中」と答えた。また、1割強が「訓練を最後まで受講し、就職が決まった」と答えた。ただし、訓練前調査に回答した者のうち約1/4が訓練後調査に回答しなかった。

なお、図表4-2に「就職以外の理由により、訓練を途中でやめた」と回答した者の理由を集計した。その結果、「その他」が最も多く4割強であった。以下、「自分の疾病、負傷」と続いていた。

図表4-1 訓練後の状況

	N	%
訓練を最後まで受講し、求職活動中	3703	58.0%
訓練を最後まで受講し、就職が決まった	827	12.9%
就職が決まったので、訓練を途中でやめた	162	2.5%
就職以外の理由により、訓練を途中でやめた	72	1.1%
無回答(事後調査に回答せず)	1623	25.4%
合計	6387	100.0%

図表4-2 「就職以外の理由により、訓練を途中でやめた」と回答した者の理由内訳

	N	%
自分の妊娠・育児	4	5.6%
自分の疾病、負傷	24	33.3%
親族の看護・介護	9	12.5%
その他	32	44.4%
無回答	3	4.2%
合計	72	100.0%

#### (2) 性別、年齢、配偶者・子供の有無、学歴による違い

個人属性別に検討した結果、性別と配偶者の有無・子供の有無で、統計的に有意な違いがみられた<sup>1</sup>。図表4-3に示したとおり、男性の方が訓練後調査に回答しなかった「無回答」の割合が多く、女性の方が「訓練を最後まで受講し、就職が決まった」割合が多かった。

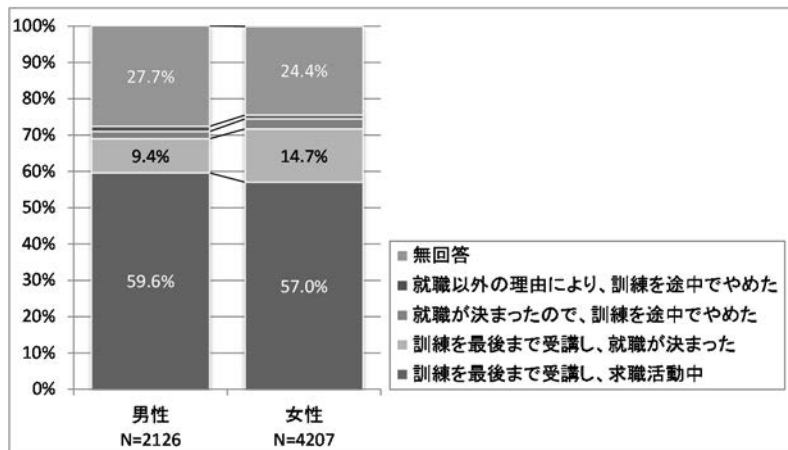
また、図表4-4に示したとおり、「配偶者あり子供あり」「配偶者なし子供あり」のように、子供がいる回答者で「訓練を最後まで受講し、就職が決まった」割合が多かった。

なお、年齢、学歴では、統計的に有意な違いはみられなかった。

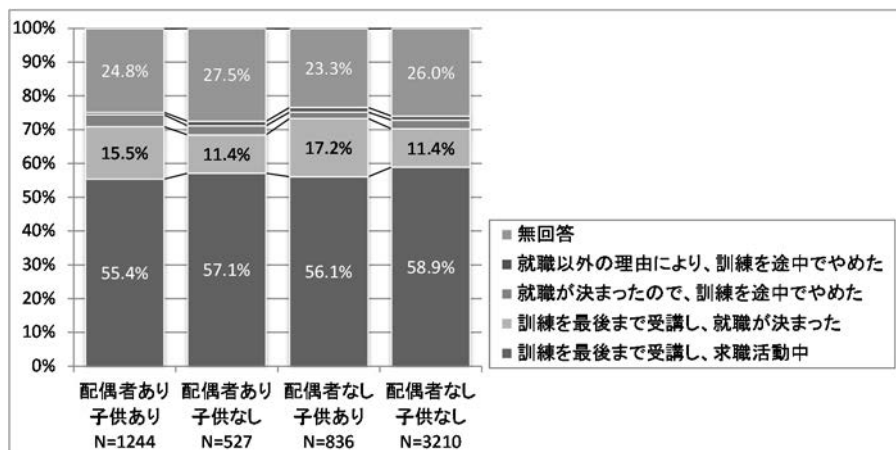
<sup>1</sup> 本章では、顕著な結果のみならず、利用者の属性等によって異なる僅かな傾向や知見についても詳細に検討したいと考えたため、章全体で有意水準を5%水準に設定した。

(3) 収入、資産、公的給付との関連

図表4-5には、生活保護・公的年金・その他の給付の受給の有無別の訓練後の状況について示した。「公的年金」を受給している者は「就職以外の理由により、訓練を途中でやめた」割合が多かった。また、「その他の給付」を受給している者は「訓練を最後まで受講し、就職が決まった」割合、および「就職以外の理由により、訓練を途中でやめた」割合が多かった。  
 なお、本人収入・世帯収入・世帯の金融資産別では、統計的に有意な違いがみられなかった。



図表4-3 性別の訓練後の状況



図表4-4 配偶者の有無・子供の有無別の訓練後の状況

図表4-5 生活保護・公的年金・その他の給付の受給の有無別の訓練後の状況

	住宅手当 N=73	生活保護 N=422	公的年金 N=147	その他の 給付 N=531	どれも 受けて いない N=4857	合計
訓練を最後まで受講し、求職活動中	52.1%	59.7%	59.9%	58.2%	57.6%	57.9%
訓練を最後まで受講し、就職が決まった	13.7%	10.2%	10.2%	16.6%	13.1%	13.1%
就職が決まったので、訓練を途中でやめた	2.7%	0.7%	1.4%	2.1%	2.8%	2.5%
就職以外の理由により、訓練を途中でやめた	1.4%	1.4%	4.8%	2.8%	0.9%	1.2%
無回答	30.1%	28.0%	23.8%	20.3%	25.7%	25.3%

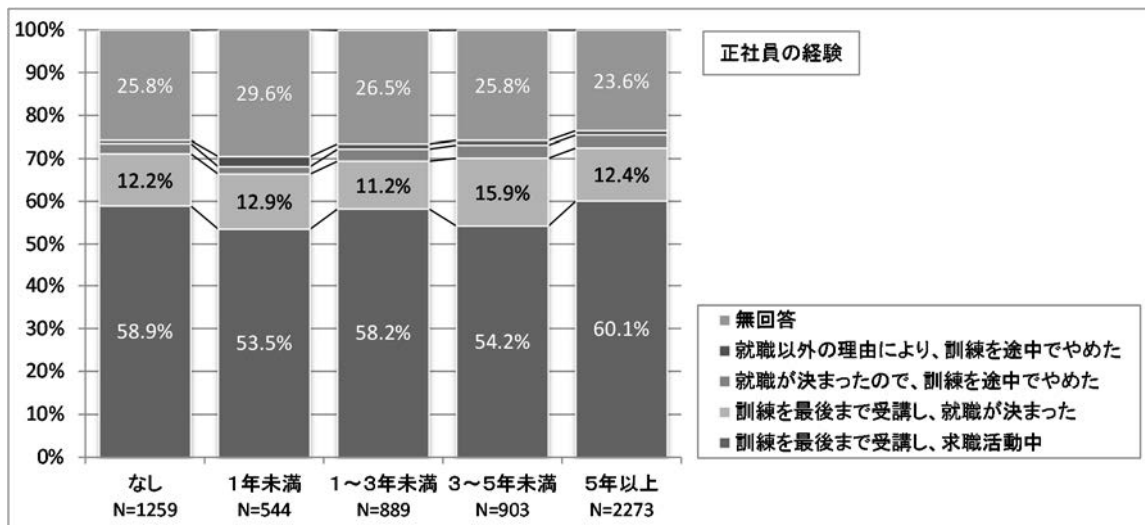
※5%水準で統計的に値が大きい箇所に網かけを付した。

(3) 就労経験との関連

図表4-6に示したとおり、正規就労経験別の訓練後の状況で、統計的に有意な違いがみられた。正規就労の経験が「3～5年未満」の者は「訓練を最後まで受講し、就職が決まった」割合が多かった。また、「5年以上」の者は「訓練を最後まで受講し、求職活動中」の割合が多かった。

なお、直近の働き方（正規就労、非正規就労、その他等）、非正規就労経験の長さは、訓練後の状況と統計的に有意な関連がみられなかった。

図表4-6 正規就労経験別の訓練後の状況



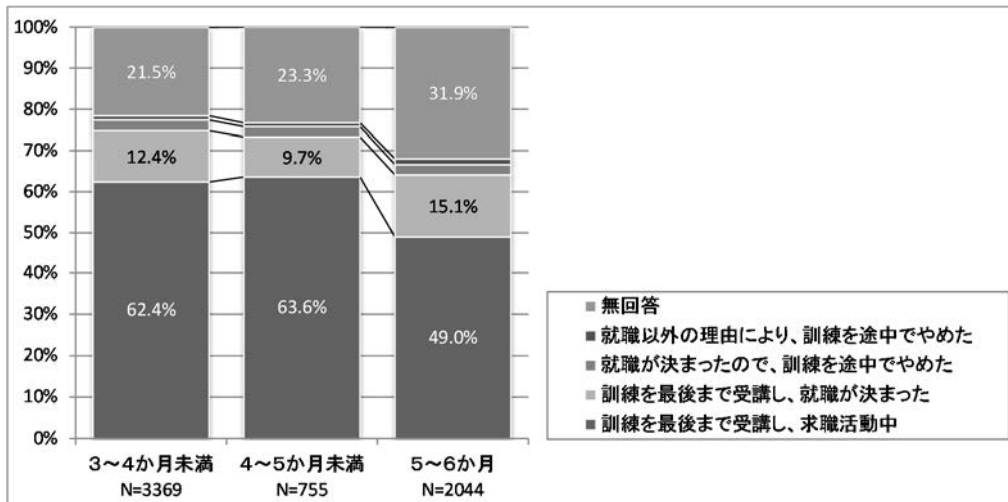
(4) 求職期間および雇用保険受給状況との関連

求職期間および雇用保険受給状況と訓練後の状況との間には、統計的に有意な関連はみられなかった。

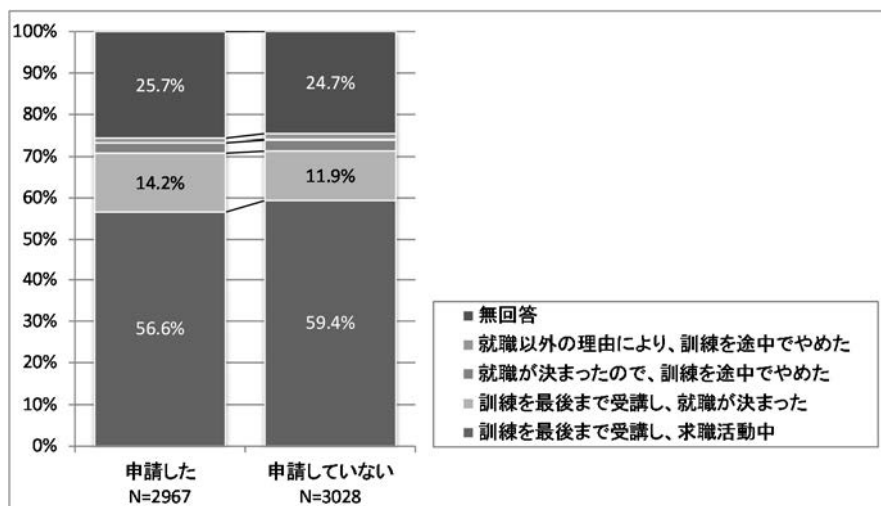
(5) 訓練期間、給付金の有無との関連

図表4-7に示したとおり、受講職業訓練期間と訓練後の状況には関連がみられた。受講訓練期間が「5～6か月」の者は「無回答」の割合が多く、「訓練を最後まで受講し、求職活動中」の者が少なかった。一方で、「訓練を最後まで受講し、就職が決まった」と回答する者が多かった。

また、図表4-8に示したとおり、職業訓練受講給付金の申請と訓練状況後の状況には若干ながらではあるが統計的に有意な関連がみられた。給付金を申請した者は「訓練を最後まで受講し、就職が決まった」者がやや多かった。一方、給付金を申請しなかった者は「訓練を最後まで受講し、求職活動中」の者がやや多かった。



図表4-7 受講職業訓練期間別の訓練後の状況



図表4-8 職業訓練受講給付金の受給の有無別の訓練後の状況

(6) 制度を知った媒体、制度利用の理由との関連

図表4-9に示したとおり、制度を知った媒体と訓練後の状況には関連がみられた<sup>2</sup>。「訓練を最後まで受講し、求職活動中」の者は、求職者支援制度を「ハローワーク職員に紹介された」「ハローワークのパンフレット等の広報」で知った割合が統計的に有意に高かった。「訓練を最後まで受講し、就職が決まった」ものは、求職者支援制度を「家族や友人・知人に勧められた」割合が統計的に有意に高かった。

<sup>2</sup> 図表4-9～図表4-11にかけては以下のような分析となっている。回答者は表側の項目に「はい(あてはまる)」「いいえ(あてはまらない)」の形で回答しているが、ある項目について「はい(あてはまる)」と回答した者が、表頭の訓練後の状況のどれを選んだかを表に示した。したがって、例えば、図表4-9で「ハローワーク職員に紹介された」に「はい」と答えた者は統計的に有意に「訓練を最後まで受講し、求職活動中」であったといった結果をもって、両者の関連性を検討したこととなる。なお、図表4-1に示したとおり、訓練後の状況は、「訓練を最後まで受講し、求職活動中」が58.0%、「訓練を最後まで受講し、就職が決まった」が12.9%、「訓練が決まったので、訓練を途中でやめた」が2.5%、「就職以外の理由により、訓練を途中でやめた」が1.1%、「無回答」が25.4%であるため、これがおおむね期待値であり、この期待値との乖離をχ検定およびその後の残差分析より検討している。

制度利用の理由と訓練後の状況との間には、統計的に有意な関連はみられなかった。

図表4-9 制度を知った媒体(複数回答)別の訓練後の状況

	訓練を最後まで受講し、求職活動中	訓練を最後まで受講し、就職が決まった	就職が決まったので、訓練を途中でやめた	就職以外の理由により、訓練を途中でやめた	無回答
ハローワーク職員に紹介された N=1985	60.5%	14.0%	2.6%	1.3%	21.7%
ハローワークのパンフレット等の広報 N=2570	60.0%	11.4%	2.8%	1.3%	24.6%
求職者支援訓練実施機関の広報 N=514	54.5%	13.2%	3.9%	0.6%	27.8%
厚生労働省・労働局の広報 N=99	61.6%	9.1%	2.0%	0.0%	27.3%
市区町村の役所・役場の広報 N=198	61.1%	12.1%	1.5%	1.0%	24.2%
駅や電車等の車内の広告 N=8	62.5%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%
その他の機関の広報 N=133	57.9%	19.5%	2.3%	0.8%	19.5%
家族や友人・知人に勧められた N=1639	55.2%	15.1%	2.4%	1.2%	26.1%
新聞、雑誌、テレビ等の報道 N=341	56.0%	14.4%	2.6%	1.5%	25.5%
その他 N=398	55.5%	13.8%	2.0%	1.0%	27.6%

※5%水準で統計的に有意に値が大きい箇所(ハローワーク職員に紹介された)に網かけを、有意に値が小さい箇所(無回答)に下線を付した。表側の媒体によって制度を知った者とそうでない者を比較して統計的な有意性の判定を行った。したがって、例えば「ハローワーク職員に紹介された」者は、そうでない者に比べて、統計的に有意に「訓練を最後まで受講し、求職活動中」と回答していたという解釈となる。ただし、Nが少ない場合は見かけ上、大きな割合でも有意になりにくいので注意を要する。

(7) 受講した訓練との関連

図表4-10に、受講した訓練と訓練後の状況について示した。図表から統計的に有意に違いがみられる箇所をまとめると、まず「営業・販売・事務」の訓練を受けた回答者には「無回答(訓練後調査に回答せず)」のものが多かった。「介護福祉(ホームヘルパー、保育など)」の訓練を受けた回答者には「訓練を最後まで受講し、就職が決まった」者が多かった。「調理(調理師、製菓師、栄養士など)」の訓練を受けた回答者には「就職以外の理由により、訓練を途中でやめた」者が多かった。また、「データ入力や基本的なパソコン操作を中心としたもの」に関する訓練を受けた回答者は「訓練を最後まで受講し、求職活動中」の者が多かった。

なお、図表4-10では、受講人数が少ない訓練コースが含まれていたため、比較的、受講者数の多い上位7コースおよびその他に集約して検討した結果を、図表4-11に示した。その結果、やはり「営業・販売・事務」の訓練を受けた回答者には「就職が決まったので、訓練を途中でやめた」「無回答(訓練後調査に回答せず)」のものが多かった。「介護福祉」の訓練を受けた回答者には「訓練を最後まで受講し、就職が決まった」者が多かった。「データ入力や基本的なパソコン操作を中心としたもの」に関する訓練を受けた回答者は「訓練を最後まで受講し、求職活動中」の者が多かった。

図表4-10 受講した訓練別の訓練後の状況①

	訓練を最後まで受講し、求職活動中	訓練を最後まで受講し、就職が決まった	就職が決まったので、訓練を途中でやめた	就職以外の理由により、訓練を途中でやめた	無回答
IT分野(システム・エンジニア、プログラマーなど) N=462	60.6%	8.9%	3.2%	0.9%	26.4%
営業・販売・事務 N=708	57.1%	8.6%	3.5%	1.3%	29.5%
医療事務(医療事務、医療秘書など) N=522	59.6%	14.8%	2.9%	0.2%	22.6%
介護福祉(ホームヘルパー、保育など) N=1197	51.9%	24.4%	1.0%	0.5%	22.2%
農業・林業(農業、林業、養畜、植木・造園など) N=9	44.4%	22.2%	0.0%	0.0%	33.3%
旅行・観光(旅行ガイド、添乗員、ツアーコンダクターなど) N=6	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
警備・保安(警備員、ガードマン(ウーマン)など) N=12	58.3%	8.3%	0.0%	0.0%	33.3%
クリエイト(企画・創作)・デザイン(webデザインなどを含む) N=487	60.6%	8.6%	2.9%	1.6%	26.3%
輸送サービス(運転、運輸、整備など) N=2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
エコ(環境保全、エネルギーなど) N=2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
調理(調理師、製菓師、栄養士など) N=40	42.5%	17.5%	5.0%	5.0%	30.0%
電気・機械・金属関連(電気工事、電気設備、機械組立など) N=38	60.5%	7.9%	5.3%	2.6%	23.7%
建設(建築、建具製造、鉄筋工、大工、左官、配管など) N=74	56.8%	10.8%	1.4%	1.4%	29.7%
理容・美容(理容、美容、メイク、ネイル、エステなど) N=425	58.6%	14.1%	0.5%	1.6%	25.2%
データ入力や基本的なパソコン操作を中心としたもの N=870	65.2%	9.1%	3.2%	1.6%	20.9%
上記以外(ホールスタッフ、コンビニ店員、軽作業などを含む) N=66	60.6%	7.6%	3.0%	0.0%	28.8%
わからない、決まっていない N=26	61.5%	0.0%	0.0%	0.0%	38.5%

※5%水準で統計的に有意に値が大きい箇所(網かけ)を、有意に値が小さい箇所(下線を付した)。なお、Nが小さい場合には、見かけ上、値が大きくても(小さくても)統計的に有意にならない場合があるので注意を要する。

図表4-11 受講した訓練別の訓練後の状況②

	訓練を最後まで受講し、求職活動中	訓練を最後まで受講し、就職が決まった	就職が決まったので、訓練を途中でやめた	就職以外の理由により、訓練を途中でやめた	無回答
IT分野 N=462	60.6%	8.9%	3.2%	0.9%	26.4%
営業・販売・事務 N=708	57.1%	8.6%	3.5%	1.3%	29.5%
医療事務 N=522	59.6%	14.8%	2.9%	0.2%	22.6%
介護福祉 N=1197	51.9%	24.4%	1.0%	0.5%	22.2%
クリエイト N=487	60.6%	8.6%	2.9%	1.6%	26.3%
理容・美容 N=425	58.6%	14.1%	0.5%	1.6%	25.2%
データ入力や基本的なパソコン操作を中心としたもの N=870	65.2%	9.1%	3.2%	1.6%	20.9%
その他 N=275	57.5%	9.8%	2.5%	1.5%	28.7%

※5%水準で統計的に有意に値が大きい箇所(網かけ)を、有意に値が小さい箇所(下線を付した)。

## 2. 就職支援およびキャリア・コンサルティングで「役に立った」もの

### (1) 全般的傾向

図表4-12に、訓練後の調査票で「調査機関で受けた就職支援、キャリア・コンサルティングのうち役に立ったもの」についてたずねた結果を示した(あてはまるものに○、複数回答)。訓練後調査に回答した6割弱が「履歴書の作成指導」「個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)」「ジョブ・カードの作成の支援及び交付」が役立ったと答えた。また、3割強が「職場見学、職場体験、企業実習」「面接指導」「求人情報の提供」が役立ったと答えた。

図表4-12 就職支援およびキャリア・コンサルティングで「役に立った」もの  
(複数回答;降順に並べ替え)

	N	%
履歴書の作成指導	2724	59.7
個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)	2717	59.5
ジョブ・カードの作成の支援及び交付	2423	53.1
職場見学、職場体験、企業実習	1656	36.3
面接指導	1547	33.9
求人情報の提供	1378	30.2
地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)	903	19.8
ハローワークへの訪問指示	722	15.8
職業紹介	701	15.3
外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談	398	8.7
ハローワークが行う就職説明会のお知らせ	279	6.1

※訓練後調査に回答した4,797名による回答。ただし、無回答・欠損値の230名を除く。

(2) 性別、年齢、配偶者・子供の有無、学歴による違い

個人属性別に検討した結果、性別、年齢、最終学歴で、統計的に有意な違いがみられた。

図表4-13に示したとおり、「履歴書の作成指導」については、女性の方が役立ったと回答した割合が高かった。

図表4-13 性別による「役に立った」ものの違い(複数回答)

	男性 N=1474	女性 N=3054
個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)	60.9%	58.6%
求人情報の提供	29.1%	30.7%
履歴書の作成指導	55.0%	61.8%
ハローワークが行う就職説明会のお知らせ	6.9%	5.8%
ハローワークへの訪問指示	14.7%	16.2%
面接指導	32.9%	34.4%
ジョブ・カードの作成の支援及び交付	52.1%	53.6%
職場見学、職場体験、企業実習	36.2%	36.4%
地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)	20.9%	19.0%
外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談	9.3%	8.5%
職業紹介	15.5%	15.2%

※5%水準で統計的に有意に大きい方に網かけを付した。

図表4-14に示したとおり、他の年齢層と比較して、20代では「個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)」が役立ったとする割合が高かった。40代では「ハローワークが行う就職説明会のお知らせ」が役立ったとする割合が高かった。50代では「ハローワークが行う就職説明会のお知らせ」「ハローワークへの訪問指示」「ジョブ・カードの作成の支援及び交付」「地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)」「外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談」が役立ったとする割合が高かった。60代では「ハローワークへの訪問指示」「ジョブ・カードの作成の支援及び交付」「地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)」「外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談」が役立ったとする割合が高かった。なお、10代および30代では、他の年齢層と比べて、統計的に有意に割合が高い箇所がみられなかった<sup>3</sup>。

<sup>3</sup> 図表4-14については、年代に応じて上昇・下降していることを示す統計量として順位相関係数(スピアマンのロー)を求めた。その結果、5%水準で統計的に有意な相関係数は「個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)」( $\rho=0.07$ )、「ハローワークが行う就職説明会のお知らせ」( $\rho=0.09$ )、「ハローワークへの訪問指示」( $\rho=0.04$ )、「ジョブ・カードの作成の支援

図表4-14 年齢別の「役に立った」ものの違い(複数回答)

	10代 N=102	20代 N=1223	30代 N=1327	40代 N=1094	50代 N=602	60代 以上 N=148
個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)	64.7%	63.8%	60.2%	56.8%	55.1%	50.0%
求人情報の提供	33.3%	30.3%	28.3%	30.0%	32.1%	39.9%
履歴書の作成指導	53.9%	60.3%	60.7%	58.5%	58.1%	60.8%
ハローワークが行う就職説明会のお知らせ	5.9%	4.3%	3.7%	8.4%	10.6%	8.1%
ハローワークへの訪問指示	11.8%	15.3%	13.3%	17.1%	18.8%	21.6%
面接指導	37.3%	33.5%	32.5%	33.8%	35.4%	40.5%
ジョブ・カードの作成の支援及び交付	46.1%	47.2%	54.6%	52.7%	58.4%	73.6%
職場見学、職場体験、企業実習	42.2%	35.7%	35.3%	35.6%	40.5%	37.2%
地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)	12.7%	16.4%	18.5%	21.0%	24.3%	30.4%
外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談	7.8%	7.7%	7.2%	9.4%	10.8%	15.5%
職業紹介	15.7%	15.7%	13.2%	15.6%	19.4%	14.9%

※5%水準で統計的に有意に大きい箇所には網かけを、有意に小さい箇所に下線を付した。

図表4-15に示したとおり、最終学歴が「高校卒」の回答者は「履歴書の作成指導」「面接指導」「職場見学、職場体験、企業実習」が役立ったとする割合が高かった。また、「中学校卒」も「職場見学、職場体験、企業実習」が役立ったとする割合が高かった。

なお、配偶者の有無・子供の有無では、統計的に有意な違いはみられなかった。

図表4-15 最終学歴別の「役に立った」ものの違い(複数回答)

	大学・ 大学院卒 N=885	短大・ 高専卒 N=565	専修学校・ 専門学校・ 各種学校卒 N=667	高校卒 N=1979	中学校卒 N=369	その他 N=50
個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)	58.6%	58.4%	57.9%	60.2%	61.6%	60.0%
求人情報の提供	29.0%	30.6%	28.3%	30.7%	34.5%	24.0%
履歴書の作成指導	52.0%	57.3%	58.9%	63.2%	63.5%	66.0%
ハローワークが行う就職説明会のお知らせ	5.8%	4.2%	5.2%	6.8%	8.6%	2.0%
ハローワークへの訪問指示	13.2%	13.5%	15.8%	16.5%	20.3%	18.0%
面接指導	30.2%	30.8%	31.8%	36.6%	36.5%	32.0%
ジョブ・カードの作成の支援及び交付	51.0%	54.2%	51.9%	55.0%	49.6%	48.0%
職場見学、職場体験、企業実習	33.9%	28.7%	32.4%	39.6%	42.9%	42.0%
地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)	20.9%	17.9%	21.7%	18.7%	20.1%	20.0%
外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談	9.2%	8.5%	7.5%	8.7%	10.3%	10.0%
職業紹介	14.8%	13.3%	15.3%	16.1%	16.7%	14.0%

※5%水準で統計的に有意に大きい箇所には網かけを付した。

### (3) 収入、資産、公的給付との関連

収入、資産、公的給付等との関連を検討した結果、生計の担い手についてのみ、統計的に有意な違いがみられた。

図表4-16に示したとおり、「あなた以外の生計の主な担い手と同居」している回答者は、「面接指導」が役立ったとする割合が高かった。

及び交付」(p.09)、「地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)」(p.09)、「外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談」(p.05)でみられた。総じて、年齢が低いほど個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)が役立ったと回答し、それ以外は年齢が高いほど役立ったと回答していたと解釈できる。



図表4-16 生計の担い手による「役に立った」ものの違い(複数回答)

	生計の主な担い手 (一人暮らしを含む) N=1578	あなた以外の生計の 主な担い手と同居 N=2390	あなた以外の生計の 主な担い手と別居 (親から仕送りを受けている等) N=110	その他 N=244
個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)	57.1%	61.3%	63.6%	57.8%
求人情報の提供	30.0%	30.8%	30.0%	29.1%
履歴書の作成指導	57.2%	60.7%	62.7%	61.5%
ハローワークが行う就職説明会のお知らせ	5.6%	5.9%	10.0%	7.8%
ハローワークへの訪問指示	15.0%	15.3%	20.0%	18.9%
面接指導	30.4%	36.1%	35.5%	34.0%
ジョブ・カードの作成の支援及び交付	53.7%	53.8%	43.6%	50.0%
職場見学、職場体験、企業実習	36.4%	35.4%	42.7%	39.3%
地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)	19.7%	20.3%	21.8%	19.7%
外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談	9.0%	8.6%	12.7%	10.2%
職業紹介	14.3%	15.3%	13.6%	18.9%

※5%水準で統計的に有意に大きい箇所に網かけを付した。

本人収入、世帯収入、世帯全体の金融資産では、統計的に有意な違いがみられなかった。また、生活保護等の公的給付受給状況でも、統計的に有意な違いはみられなかった。

#### (4) 就労経験との関連

就労経験との関連を検討した結果、直近の働き方によって、「役に立った」ものに統計的に有意な違いがみられた。図表4-17に示したとおり、直近の働き方が「パート・アルバイト」であった回答者は「履歴書の作成指導」「面接指導」が役に立ったと答えた割合が高かった。

図表4-17 直近の働き方別の「役に立った」ものの違い(複数回答)

	正社員 正職員 N=1239	契約 社員 N=469	派遣 社員 N=393	パート・ アル バイト N=2074	自営業・ 家族 従業員 N=117	働いた 経験が ない N=59	その他 N=68
個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)	58.8%	58.2%	54.7%	60.7%	58.1%	64.4%	63.2%
求人情報の提供	27.4%	30.1%	27.7%	31.9%	34.2%	37.3%	30.9%
履歴書の作成指導	56.7%	56.3%	50.6%	63.8%	57.3%	59.3%	60.3%
ハローワークが行う就職説明会のお知らせ	7.0%	5.1%	5.9%	5.6%	8.5%	6.8%	7.4%
ハローワークへの訪問指示	14.3%	16.8%	12.8%	16.5%	16.2%	15.3%	25.0%
面接指導	31.3%	29.2%	30.5%	36.7%	33.3%	50.8%	32.4%
ジョブ・カードの作成の支援及び交付	54.2%	50.7%	50.1%	54.1%	51.3%	47.5%	47.1%
職場見学、職場体験、企業実習	36.7%	34.3%	33.6%	36.8%	44.4%	30.5%	42.6%
地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)	19.3%	21.1%	17.0%	20.0%	19.7%	25.4%	19.1%
外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談	7.4%	8.1%	9.2%	9.0%	14.5%	15.3%	13.2%
職業紹介	14.7%	14.9%	13.5%	16.0%	17.9%	20.3%	20.6%

※5%水準で統計的に有意に大きい箇所に網かけを付した。

また、図表4-18に示したとおり、正規就労経験期間でも統計的に有意な違いがみられた。正規就労経験が「5年以上」の回答者は「ジョブ・カードの作成の支援及び交付」が役に立ったと答えた割合が高かった。

なお、非正規就労経験では、統計的に有意な違いがみられなかった。

図表4-18 正規就労経験期間別の「役に立った」ものの違い(複数回答)

	なし N=896	1年未満 N=371	1~3年 未満 N=622	3~5年 未満 N=633	5年以上 N=1681
個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)	64.0%	58.5%	59.5%	58.1%	57.6%
求人情報の提供	33.4%	26.7%	31.0%	30.2%	29.7%
履歴書の作成指導	63.5%	58.2%	60.6%	57.3%	58.0%
ハローワークが行う就職説明会のお知らせ	5.7%	6.2%	4.0%	5.7%	7.2%
ハローワークへの訪問指示	15.4%	17.3%	15.3%	13.9%	15.8%
面接指導	35.0%	30.5%	36.2%	31.6%	33.3%
ジョブ・カードの作成の支援及び交付	49.3%	52.0%	49.3%	55.0%	56.5%
職場見学、職場体験、企業実習	34.8%	37.8%	36.0%	36.3%	36.5%
地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)	18.3%	17.5%	17.7%	19.6%	22.4%
外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談	8.9%	5.4%	8.4%	7.4%	9.8%
職業紹介	16.5%	14.3%	17.0%	15.3%	14.8%

※5%水準で統計的に有意に大きい箇所に網かけを付した。

(5) 求職期間および雇用保険受給状況等との関連

求職期間および雇用保険受給状況との関連を検討した結果、図表4-19に示したとおり、雇用保険受給状況によって、統計的に有意な違いがみられた。雇用保険に「加入していなかったために、受給していない」回答者は、「履歴書の作成指導」や「面接指導」が役に立ったと答えた割合が高かった。

なお、離職後の求職期間、雇用保険受給終了後期間では統計的に有意な違いがみられなかった。

図表4-19 雇用保険受給状況別の「役に立った」ものの違い(複数回答)

	加入してい なかったた め、受給し ていない N=1543	加入したが 被保険者 期間が足り ず、受給し ていない N=528	受給して いる(待期 中・給付制 限中を含 む) N=1187	受給が終了 している N=955
個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)	61.4%	63.4%	56.8%	57.5%
求人情報の提供	32.1%	29.7%	30.2%	27.0%
履歴書の作成指導	62.8%	56.1%	55.8%	61.4%
ハローワークが行う就職説明会のお知らせ	6.1%	6.3%	6.1%	6.3%
ハローワークへの訪問指示	17.1%	15.7%	14.4%	13.9%
面接指導	37.3%	26.7%	33.1%	33.2%
ジョブ・カードの作成の支援及び交付	52.0%	49.4%	55.0%	55.2%
職場見学、職場体験、企業実習	38.8%	37.3%	33.5%	35.6%
地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)	19.6%	22.5%	20.0%	19.4%
外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談	8.6%	11.6%	9.8%	7.3%
職業紹介	16.5%	17.2%	15.2%	12.6%

※5%水準で統計的に有意に大きい箇所に網かけを付した。

(6) 訓練期間および給付金の有無との関連

図表4-20に示したとおり、訓練期間の長さによって、「役に立った」ものに統計的に有意な違いがみられた。訓練期間が「3~4か月」の回答者は「履歴書の作成指導」「面接指導」「ジョブ・カードの作成の支援及び交付」が役立ったとした割合が高かった。一方、「5~6か月」の回答者は「求人情報の提供」「職場見学、職場体験、企業実習」が役立ったとした割合が高かった。

図表4-20 訓練期間別の「役に立った」ものの違い(複数回答)

	3~4か月 未満 N=2540	4~5か月 未満 N=553	5~6か月 N=1339
個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)	59.4%	62.2%	58.6%
求人情報の提供	29.6%	26.8%	32.6%
履歴書の作成指導	64.0%	54.8%	52.9%
ハローワークが行う就職説明会のお知らせ	5.7%	6.1%	6.8%
ハローワークへの訪問指示	16.3%	12.5%	15.8%
面接指導	37.4%	30.9%	28.5%
ジョブ・カードの作成の支援及び交付	56.0%	57.5%	45.6%
職場見学、職場体験、企業実習	35.8%	28.6%	40.9%
地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)	19.3%	20.1%	20.4%
外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談	9.2%	9.8%	7.5%
職業紹介	16.3%	11.2%	15.5%

※5%水準で統計的に有意に大きい箇所には網かけを、有意に小さい箇所には下線を付した。

また、図表4-21に示したとおり、給付金申請の有無によっても「役に立った」ものに統計的に有意な違いがみられた。給付金を申請した者は「職場見学、職場体験、企業実習」が役立ったとする割合が高かった。一方、給付金を申請しなかった者は「面接指導」が役立ったとする割合が高かった。

図表4-21 給付金申請の有無別の「役に立った」ものの違い(複数回答)

	申請した N=2111	申請して いない N=2198
個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)	59.4%	59.4%
求人情報の提供	29.6%	30.6%
履歴書の作成指導	60.0%	59.2%
ハローワークが行う就職説明会のお知らせ	6.4%	5.6%
ハローワークへの訪問指示	15.8%	15.6%
面接指導	31.8%	35.6%
ジョブ・カードの作成の支援及び交付	52.0%	54.3%
職場見学、職場体験、企業実習	38.2%	34.5%
地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)	19.3%	20.0%
外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談	9.1%	8.6%
職業紹介	15.6%	15.0%

※5%水準で統計的に有意に大きい箇所には網かけを、有意に小さい箇所には下線を付した。

#### (7) 制度を知った媒体、制度利用の理由、希望している働き方との関連

図表4-22に示したとおり、制度を知った媒体によって、「役に立った」ものに統計的に有意な違いがみられた。主だった結果を抜き出すと、「ハローワーク職員に紹介された」者は「ハローワークが行う就職説明会のお知らせ」「ハローワークへの訪問指示」「面接指導」「ジョブ・カードの作成の支援及び交付」「地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)」「外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談」が役立ったとする割合が統計的に有意に高かった。

一方、「求職者支援訓練実施機関の広報」によって制度を知った者は「個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)」「求人情報の提供」「ジョブ・カードの作成の支援及び交付」「職場見学、職場体験、企業実習」「職業紹介」が役立ったとする割合が統計的に有意に高かった。

また、「家族や友人・知人に勧められた」者は「個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)」「求人情報の提供」「ハローワークへの訪問指示」「職業紹介」が役立ったとする割合

が統計的に有意に高かった。

図表4-22 制度を知った媒体別の「役に立った」ものの違い(複数回答)

	ハローワーク職員に紹介された N=1993	ハローワークのパンフレット等の広報 N=2578	求職者支援訓練実施機関の広報 N=518	厚生労働省・労働局の広報 N=101	市区町村の役所・役場の広報 N=199	駅や電車等の車内の広告 N=8	その他の機関の広報 N=133	家族や友人・知人に勧められた N=1644	新聞、雑誌、テレビ等の報道 N=341	その他 N=403
個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)	60.1%	60.7%	65.6%	54.2%	63.5%	66.7%	63.1%	63.0%	52.7%	62.2%
求人情報の提供	31.3%	30.7%	39.1%	25.0%	30.7%	50.0%	32.0%	32.8%	29.8%	28.8%
履歴書の作成指導	61.4%	59.2%	63.4%	45.8%	65.7%	83.3%	62.1%	61.3%	63.7%	52.5%
ハローワークが行う就職説明会のお知らせ	8.0%	5.5%	7.7%	11.1%	5.8%	16.7%	9.7%	5.7%	7.8%	4.3%
ハローワークへの訪問指示	17.9%	14.2%	17.6%	12.5%	23.4%	33.3%	13.6%	17.9%	16.7%	15.1%
面接指導	36.1%	35.9%	35.8%	33.3%	25.5%	33.3%	25.2%	34.2%	32.7%	29.9%
ジョブ・カードの作成の支援及び交付	56.1%	54.6%	59.8%	56.9%	52.6%	66.7%	59.2%	54.0%	55.5%	50.7%
職場見学、職場体験、企業実習	38.0%	36.3%	41.9%	30.6%	44.5%	66.7%	38.8%	38.0%	32.7%	35.6%
地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)	22.2%	21.2%	21.8%	22.2%	19.0%	0.0%	22.3%	19.6%	17.1%	18.3%
外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談	11.1%	7.7%	8.5%	11.1%	7.3%	0.0%	8.7%	9.3%	10.6%	9.4%
職業紹介	16.9%	14.8%	20.1%	13.9%	11.7%	33.3%	15.5%	18.0%	17.1%	14.0%

※5%水準で統計的に有意に大きい箇所を網かけを、有意に小さい箇所を下線を付した。

図表4-23に示したとおり、求職者支援制度利用の理由によっても、「役に立った」ものに統計的に有意な違いがみられた。「ハローワークで就職支援を受けられること」が利用理由の者は「履歴書の作成指導」「ハローワークへの訪問指示」「ジョブ・カードの作成の支援及び交付」が役立ったとする割合が統計的に有意に高かった。

図表4-23 求職者支援制度利用の理由別の「役に立った」ものの違い(複数回答)

	職業訓練を無料で受けられる(技能や知識を習得することができる)こと N=3304	ハローワークで就職支援を受けられること N=424	求職者支援訓練実施機関で無料のキャリア・コンサルティングを受けられること N=265	職業訓練受講給付金があること N=221	その他 N=50
個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)	59.7%	60.6%	60.8%	54.8%	50.0%
求人情報の提供	29.6%	34.4%	31.7%	32.6%	18.0%
履歴書の作成指導	58.5%	66.3%	59.6%	62.4%	48.0%
ハローワークが行う就職説明会のお知らせ	5.9%	8.0%	6.8%	4.5%	8.0%
ハローワークへの訪問指示	14.5%	20.5%	17.0%	17.6%	20.0%
面接指導	33.1%	38.0%	35.1%	34.8%	26.0%
ジョブ・カードの作成の支援及び交付	52.1%	60.6%	56.2%	48.4%	56.0%
職場見学、職場体験、企業実習	35.2%	38.2%	39.6%	40.7%	56.0%
地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)	19.0%	23.3%	19.6%	23.5%	30.0%
外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談	8.3%	9.7%	10.9%	7.2%	12.0%
職業紹介	14.7%	18.4%	17.4%	14.9%	18.0%

※5%水準で統計的に有意に大きい箇所を網かけを、有意に小さい箇所を下線を付した。

図表4-24に示したとおり、希望している働き方別では1%水準では統計的に有意な結果が示されなかったが、5%水準では、「パート・アルバイト」を希望している者で「履歴書の作成指導」が役立ったとする割合が統計的に有意に高かった。

図表4-24 希望している働き方別の「役に立った」ものの違い(複数回答)

	正社員・ 正職員 N=3432	契約社員 N=111	派遣社員 N=36	パート・ アルバイト N=719	その他 N=66
個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)	59.7%	54.1%	55.6%	58.4%	57.6%
求人情報の提供	30.3%	27.0%	30.6%	29.9%	25.8%
履歴書の作成指導	58.6%	64.0%	50.0%	64.0%	51.5%
ハローワークが行う就職説明会のお知らせ	5.8%	3.6%	2.8%	7.8%	10.6%
ハローワークへの訪問指示	15.2%	12.6%	13.9%	18.1%	21.2%
面接指導	33.3%	30.6%	27.8%	37.9%	28.8%
ジョブ・カードの作成の支援及び交付	52.4%	60.0%	55.6%	56.5%	47.0%
職場見学、職場体験、企業実習	36.2%	29.7%	33.3%	38.0%	45.5%
地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)	19.7%	26.1%	16.7%	19.2%	19.7%
外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談	8.5%	8.1%	5.6%	8.8%	16.7%
職業紹介	15.6%	9.9%	8.3%	14.7%	15.2%

※5%水準で統計的に有意に大きい箇所<sup>1</sup>に網かけを、有意に小さい箇所<sup>2</sup>に下線を付した。

#### (8) 受講した訓練との関連

図表4-25に受講した訓練分野別に「役に立った」ものの割合を示した。おもだった結果を示すと、まず「介護福祉」の分野で訓練を受講した者は「役に立った」と回答した割合が概して高く、「求人情報の提供」「ハローワークが行う就職説明会のお知らせ」「ハローワークへの訪問指示」「職場見学、職場体験、企業実習」「職業紹介」が役立ったとする割合が統計的に有意に高かった。

また、「データ入力や基本的なパソコン操作を中心としたもの」の分野(いわゆる基礎コース)で訓練を受けた者も「役に立った」と回答した割合が概して高かった。「履歴書の作成の指導」「ハローワークへの訪問指示」「面接指導」「ジョブ・カードの作成の支援及び交付」「地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)」が役立ったとする割合が統計的に有意に高かった。

その他、「医療事務」の分野で訓練を受けた者では、「履歴書の作成指導」「面接指導」「職場見学、職場体験、企業実習」が役立ったとする割合が統計的に有意に高かった。

図表4-25 受講した訓練分野別の「役に立った」ものの違い(複数回答)

	個別の 職業相 談(キャ リア・コ ンサル ティン グ)	求人 情報 の 提供	履歴書 の作成 指導	ハロー ワーク が行う 就職説 明会 の お 知 ら せ	ハロー ワーク への 訪問 指 示	面接 指 導	ジョブ カード の作成 の支援 及び 交付	職場 見学、 職場 体験、 企業 実習	地域の 雇用 情勢等 に関する 説明 (職業人 講話等)	外部の キャリ ア・コ ンサル タント による 個別 相談	職業 紹介
IT分野 N=329	60.2%	30.4%	52.9%	7.0%	12.2%	29.8%	56.8%	23.1%	24.9%	8.5%	12.8%
営業・販売・事務 N=483	62.1%	26.1%	65.4%	6.0%	13.3%	35.6%	55.3%	19.5%	21.9%	8.3%	12.6%
医療事務 N=391	56.8%	32.2%	73.1%	3.1%	15.9%	44.8%	47.1%	47.6%	12.8%	7.9%	15.3%
介護福祉 N=895	58.0%	35.6%	56.2%	10.7%	18.3%	35.0%	46.8%	66.3%	17.3%	8.3%	21.7%
クリエイト N=344	58.7%	27.9%	48.0%	3.5%	10.2%	20.1%	50.0%	30.2%	24.7%	7.3%	11.9%
理容・美容 N=297	55.6%	25.3%	45.9%	0.3%	13.5%	20.2%	47.8%	52.2%	16.2%	11.1%	14.8%
データ入力や基本的な パソコン操作を中心としたもの N=665	64.5%	31.0%	73.2%	5.1%	19.2%	44.7%	65.4%	14.0%	23.5%	8.1%	12.5%
その他 N=189	58.7%	25.4%	50.8%	3.7%	15.3%	24.3%	52.4%	34.9%	20.1%	12.7%	14.8%

※5%水準で統計的に有意に値が大きい箇所<sup>1</sup>に網かけを、有意に値が小さい箇所<sup>2</sup>に下線を付した。

### 3. 就職支援およびキャリア・コンサルティングで「もっと受けたかった」もの

#### (1) 全般的傾向

図表4-26に、訓練後の調査票で「調査機関で受けた就職支援、キャリア・コンサルティングのうちもっと受けたかったもの」についてたずねた結果を示した（あてはまるものの数字を記入、複数回答）。

その結果、訓練後調査に回答した2割強が「職場見学、職場体験、企業実習」「個別の職業相談（キャリア・コンサルティング）」「面接指導」と回答した。また、1割強が「職業紹介」「求人情報の提供」「履歴書の作成指導」と回答した。

図表4-26 就職支援およびキャリア・コンサルティングで「もっと受けたかった」もの（複数回答）

	N	%
個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)	936	23.4%
求人情報の提供	705	17.6%
履歴書の作成指導	688	17.2%
ハローワークが行う就職説明会のお知らせ	98	2.4%
ハローワークへの訪問指示	49	1.2%
面接指導	889	22.2%
ジョブ・カードの作成の支援及び交付	285	7.1%
職場見学、職場体験、企業実習	1053	26.3%
地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)	490	12.2%
外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談	395	9.9%
職業紹介	729	18.2%

#### (2) 性別、年齢、配偶者・子供の有無、学歴による違い

個人属性別に検討した結果、性別、年齢、配偶者・子供の有無で、統計的に有意な違いがみられた。

図表4-27に示したとおり、男性は「個別の職業相談（キャリア・コンサルティング）」「履歴書の作成指導」「ジョブ・カードの作成の支援及び交付」「地域の雇用情勢等に関する説明（職業人講話等）」をもっと受けたかったと回答した割合が統計的に有意に高かった。

図表4-28に示したとおり、10代では「面接指導」、20代では「履歴書の作成指導」「面接指導」、40代では「求人情報の提供」「地域の雇用情勢等に関する説明（職業人講話等）」「外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談」「職業紹介」、50代では「ジョブ・カードの作成の支援及び交付」「地域の雇用情勢等に関する説明（職業人講話等）」、60代以上では「ジョブ・カードの作成の支援及び交付」「外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談」をもっと受けたかったと回答した割合が統計的に有意に高かった。

図表4-27 性別による「もっと受けたかった」ものの違い(複数回答)

	男性 N=1319	女性 N=2653
個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)	25.9%	21.9%
求人情報の提供	16.0%	18.4%
履歴書の作成指導	18.3%	16.4%
ハローワークが行う就職説明会のお知らせ	3.2%	2.1%
ハローワークへの訪問指示	1.1%	1.3%
面接指導	21.7%	22.4%
ジョブ・カードの作成の支援及び交付	9.2%	6.1%
職場見学、職場体験、企業実習	28.8%	25.2%
地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)	15.5%	10.5%
外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談	9.7%	10.0%
職業紹介	19.7%	17.5%

※5%水準で統計的に有意に大きい方に網かけを付した。

図表4-28 年齢別の「もっと受けたかった」ものの違い(複数回答)

	10代 N=85	20代 N=1092	30代 N=1193	40代 N=948	50代 N=503	60代 以上 N=125
個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)	18.8%	24.9%	22.9%	22.5%	23.1%	24.0%
求人情報の提供	14.1%	13.6%	18.4%	20.1%	19.7%	20.0%
履歴書の作成指導	16.5%	20.0%	15.8%	17.5%	14.5%	13.6%
ハローワークが行う就職説明会のお知らせ	0.0%	1.7%	2.6%	3.1%	2.4%	4.8%
ハローワークへの訪問指示	3.5%	1.1%	0.8%	1.6%	1.2%	2.4%
面接指導	32.9%	28.6%	21.9%	18.5%	15.7%	16.8%
ジョブ・カードの作成の支援及び交付	5.9%	5.8%	6.4%	7.3%	9.5%	18.4%
職場見学、職場体験、企業実習	34.1%	25.1%	25.4%	28.1%	27.8%	24.8%
地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)	2.4%	9.9%	11.0%	14.0%	17.1%	17.6%
外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談	4.7%	7.3%	9.8%	11.6%	11.3%	15.2%
職業紹介	10.6%	14.9%	18.7%	20.8%	19.7%	21.6%

※5%水準で統計的に有意に大きい箇所を、有意に小さい箇所を下線を付した。

図表4-29に示したとおり、「配偶者あり子供なし」では「外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談」、「配偶者なし子供なし」では「面接指導」をもっと受けたかったと回答した割合が統計的に有意に高かった。

図表4-29 配偶者の有無・子供の有無別の「もっと受けたかった」ものの違い(複数回答)

	配偶者 あり 子供 あり N=785	配偶者 あり 子供 なし N=319	配偶者 なし 子供 あり N=522	配偶者 なし 子供 なし N=2036
個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)	22.5%	22.6%	21.3%	24.0%
求人情報の提供	19.6%	19.7%	19.5%	15.8%
履歴書の作成指導	15.4%	16.9%	13.8%	18.2%
ハローワークが行う就職説明会のお知らせ	2.8%	1.6%	2.7%	2.4%
ハローワークへの訪問指示	1.3%	0.3%	0.8%	1.2%
面接指導	20.0%	18.2%	21.8%	23.9%
ジョブ・カードの作成の支援及び交付	7.4%	9.1%	6.7%	6.4%
職場見学、職場体験、企業実習	26.0%	24.8%	26.1%	26.6%
地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)	11.6%	12.5%	9.8%	13.0%
外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談	9.7%	16.0%	8.8%	8.9%
職業紹介	19.6%	16.3%	18.4%	17.8%

※5%水準で統計的に有意に大きい箇所を網かけを下線を付した。

なお、最終学歴では統計的に有意な違いはみられなかった。

### (3) 収入、資産、公的給付との関連

収入、資産、公的給付等との関連を検討した結果、生計の担い手について、統計的に有意な違いがみられた。

図表4-30に示したとおり、「生計の主な担い手と同居」している者は「面接指導」をもっと受けたかったと回答した割合が統計的に有意に高かった。また、生計の担い手について「その他」と回答した者は「ハローワークへの訪問指示」「ジョブ・カードの作成の支援及び交付」をもっと受けたかったと回答した割合が統計的に有意に高かった。

図表4-30 生計の担い手別の「もっと受けたかった」ものの違い(複数回答)

	生計の主な担い手 (一人暮らしを含む) N=1383	あなた以外の生計の 主な担い手と同居 N=2130	あなた以外の生計の 主な担い手と別居 (親から仕送りを受けている等) N=93	その他 N=206
個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)	23.0%	23.4%	31.2%	23.8%
求人情報の提供	19.6%	16.9%	18.3%	13.1%
履歴書の作成指導	15.3%	17.7%	18.3%	22.3%
ハローワークが行う就職説明会のお知らせ	2.5%	2.1%	5.4%	3.9%
ハローワークへの訪問指示	1.0%	1.1%	0.0%	3.4%
面接指導	18.4%	25.4%	18.3%	18.4%
ジョブ・カードの作成の支援及び交付	7.0%	6.8%	1.1%	11.7%
職場見学、職場体験、企業実習	27.9%	24.8%	23.7%	32.0%
地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)	14.0%	11.5%	8.6%	10.7%
外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談	10.3%	9.4%	10.8%	13.6%
職業紹介	19.8%	16.9%	19.4%	18.4%

※5%水準で統計的に有意に大きい箇所を網かけを、有意に小さい箇所に下線を付した。

図表4-31に示したとおり、公的給付の有無でも統計的に有意な違いがみられた。「生活保護」を受給している者は「個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)」「ハローワークへの訪問指示」「ジョブ・カードの作成の支援及び交付」をもっと受けたかったと回答した割合が統計的に有意に高かった。また、「公的年金」を受給している者は「ハローワークが行う就職説明会のお知らせ」「ハローワークへの訪問指示」「ジョブ・カードの作成の支援及び交付」をもっと受けたかったと回答した割合が統計的に有意に高かった。さらに、「その他」と回答した者は「地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)」をもっと受けたかったと回答した割合が統計的に有意に高かった。

なお、本人収入、世帯収入、世帯全体の金融資産では、統計的に有意な違いがみられなかった。



図表4-31 公的給付の有無別の「もっと受けたかった」ものの違い(複数回答)

	住宅 手当 N=45	生活 保護 N=246	公的 年金 N=91	その他 N=353	どれも 受けて いない N=3070
個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)	33.3%	29.7%	20.9%	22.1%	23.0%
求人情報の提供	8.9%	14.6%	19.8%	19.8%	17.6%
履歴書の作成指導	20.0%	18.7%	19.8%	17.3%	16.8%
ハローワークが行う就職説明会のお知らせ	2.2%	3.3%	8.8%	2.0%	2.3%
ハローワークへの訪問指示	0.0%	3.3%	4.4%	0.6%	1.0%
面接指導	20.0%	21.1%	17.6%	19.0%	22.7%
ジョブ・カードの作成の支援及び交付	11.1%	10.2%	18.7%	7.1%	6.4%
職場見学、職場体験、企業実習	28.9%	31.3%	23.1%	25.5%	26.2%
地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)	11.1%	11.8%	13.2%	15.6%	11.8%
外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談	8.9%	10.2%	7.7%	9.1%	10.1%
職業紹介	17.8%	15.0%	22.0%	17.3%	18.4%

※5%水準で統計的に有意に大きい箇所<sup>1</sup>に網かけを、有意に小さい箇所<sup>2</sup>に下線を付した。

(4) 就労経験との関連

就労経験との関連を検討した結果、直近の働き方によって「もっとも受けたかった」ものに統計的に有意な違いがみられた。図表4-32に示したとおり、「派遣社員」「その他」で「ハローワークへの訪問指示」と回答した割合が統計的に有意に高かった。なお、「パート・アルバイト」「働いた経験がない」で「面接指導」と回答した割合が統計的に有意に高かった。

図表4-32 直近の働き方別の「もっと受けたかった」ものの違い(複数回答)

	正社員 正職員 N=1100	契約 社員 N=408	派遣 社員 N=356	パート・ アル バイト N=1804	自営業・ 家族 従業員 N=105	働いた 経験が ない N=51	その他 N=59
個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)	23.4%	25.2%	22.8%	23.2%	21.9%	27.5%	20.3%
求人情報の提供	17.6%	19.4%	21.1%	16.3%	21.0%	17.6%	18.6%
履歴書の作成指導	16.3%	20.6%	18.5%	16.3%	12.4%	27.5%	22.0%
ハローワークが行う就職説明会のお知らせ	2.4%	3.2%	2.8%	2.2%	1.9%	2.0%	5.1%
ハローワークへの訪問指示	0.8%	0.7%	2.5%	1.1%	1.9%	3.9%	5.1%
面接指導	20.3%	21.6%	20.5%	24.4%	12.4%	37.3%	18.6%
ジョブ・カードの作成の支援及び交付	7.4%	7.4%	6.7%	6.6%	7.6%	11.8%	8.5%
職場見学、職場体験、企業実習	24.7%	27.7%	27.2%	27.1%	29.5%	21.6%	23.7%
地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)	12.6%	10.8%	12.4%	12.1%	11.4%	11.8%	11.9%
外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談	10.9%	12.0%	9.8%	8.8%	11.4%	9.8%	13.6%
職業紹介	19.2%	21.1%	17.7%	16.9%	19.0%	23.5%	22.0%

※5%水準で統計的に有意に大きい箇所<sup>1</sup>に網かけを、有意に小さい箇所<sup>2</sup>に下線を付した。

また、図表4-33に示したとおり、正規就労経験で統計的に有意な違いがみられた。正規就労経験が「なし」の者は「面接指導」をもっと受けたかったと回答した割合が統計的に有意に高かった。正規就労経験が「5年以上」の者は「求人情報の提供」「ジョブ・カードの作成の支援及び交付」「地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)」「職業紹介」をもっと受けたかったと回答した割合が統計的に有意に高かった。

図表4-33 正規就労経験別の「もっと受けたかった」ものの違い(複数回答)

	なし N=790	1年未満 N=330	1～3年 未満 N=543	3～5年 未満 N=546	5年以上 N=1484
個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)	25.2%	20.6%	25.6%	22.2%	23.0%
求人情報の提供	14.3%	16.7%	17.9%	17.6%	19.9%
履歴書の作成指導	20.4%	18.2%	17.3%	17.2%	15.1%
ハローワークが行う就職説明会のお知らせ	2.3%	3.0%	2.4%	1.5%	3.0%
ハローワークへの訪問指示	1.5%	1.8%	1.3%	0.7%	1.2%
面接指導	29.4%	21.8%	23.6%	21.8%	17.9%
ジョブ・カードの作成の支援及び交付	6.5%	5.5%	5.9%	6.2%	8.4%
職場見学、職場体験、企業実習	25.1%	30.0%	27.4%	25.6%	26.3%
地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)	8.1%	11.5%	11.0%	11.7%	15.1%
外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談	8.5%	9.7%	9.6%	9.3%	11.6%
職業紹介	15.3%	16.1%	17.7%	19.9%	20.3%

※5%水準で統計的に有意に大きい箇所を網かけを付した。

一方、図表4-34に示したとおり、非正規就労経験でも統計的に有意な違いがみられた。非正規就労経験が「3～5年未満」の者は「履歴書の作成指導」を、「5年以上」の者は「地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)」「外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談」をもっと受けたかったと回答した割合が統計的に有意に高かった。

図表4-34 非正規就労経験別の「もっと受けたかった」ものの違い(複数回答)

	なし N=344	1年未満 N=477	1～3年 未満 N=625	3～5年 未満 N=551	5年以上 N=1199
個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)	23.0%	26.0%	20.3%	23.0%	23.3%
求人情報の提供	19.2%	16.3%	17.6%	14.3%	18.8%
履歴書の作成指導	18.6%	19.5%	16.3%	20.9%	14.7%
ハローワークが行う就職説明会のお知らせ	2.6%	2.5%	2.6%	2.5%	2.6%
ハローワークへの訪問指示	1.7%	1.7%	0.6%	1.6%	0.9%
面接指導	26.7%	26.4%	25.8%	26.3%	18.3%
ジョブ・カードの作成の支援及び交付	8.4%	5.9%	6.2%	8.2%	6.8%
職場見学、職場体験、企業実習	22.4%	27.0%	27.8%	27.9%	27.0%
地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)	12.2%	11.3%	9.3%	10.9%	13.9%
外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談	11.0%	9.0%	9.1%	5.8%	12.8%
職業紹介	19.5%	16.5%	17.9%	18.0%	19.9%

※5%水準で統計的に有意に大きい箇所を網かけを付した。

#### (5) 求職期間および雇用保険受給状況との関連

求職期間および雇用保険受給状況との関連を検討した結果、雇用保険受給状況によって統計的に有意な違いがみられた。

図表4-35に示したとおり、「加入していなかったため、受給していない」と回答した者は「面接指導」をもっと受けたかったと回答した割合が統計的に有意に高かった。また、「受給が終了している」と回答した者は「履歴書の作成指導」をもっと受けたかったと回答した割合が統計的に有意に高かった。

なお、離職後の求職期間では統計的に有意な結果はみられなかった。

図表4-35 雇用保険受給状況別の「もっと受けたかった」ものの違い(複数回答)

	加入していなかったため、 受給していない N=1345	加入したが 被保険者期間 が足りず、受給 していない N=473	受給している (待期中・給付 制限中を含む) N=1030	受給が 終了している N=856
個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)	24.5%	24.5%	22.5%	22.0%
求人情報の提供	15.7%	17.3%	18.3%	19.5%
履歴書の作成指導	17.2%	16.3%	15.1%	20.0%
ハローワークが行う就職説明会のお知らせ	2.0%	3.8%	2.2%	2.6%
ハローワークへの訪問指示	1.5%	1.1%	0.7%	1.2%
面接指導	25.9%	19.7%	19.4%	20.6%
ジョブ・カードの作成の支援及び交付	7.1%	7.4%	7.1%	6.1%
職場見学、職場体験、企業実習	27.2%	28.5%	25.4%	25.2%
地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)	11.2%	13.1%	12.6%	13.0%
外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談	9.5%	8.7%	11.9%	9.6%
職業紹介	17.2%	16.7%	19.6%	20.0%

※5%水準で統計的に有意に大きい箇所に網かけを付した。

(6) 訓練期間および給付金申請の有無との関連

訓練期間および給付金申請の有無との関連を検討した。その結果、訓練期間によって統計的に有意な違いがみられた。図表4-36に示したとおり、訓練期間が「3～4か月未満」の者は「履歴書の作成指導」「面接指導」をもっと受けたかったと回答した割合が統計的に有意に高かった。一方、「5～6か月」の者は「職場見学、職場体験、企業実習」をもっと受けたかったと回答した割合が統計的に有意に高かった。

図表4-36 訓練期間別の「もっと受けたかった」ものの違い(複数回答)

	3～4か月 未満 N=2179	4～5か月 未満 N=479	5～6か月 N=1232
個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)	23.2%	26.1%	22.6%
求人情報の提供	17.3%	18.8%	17.5%
履歴書の作成指導	18.8%	17.1%	14.0%
ハローワークが行う就職説明会のお知らせ	2.3%	2.1%	2.8%
ハローワークへの訪問指示	1.2%	0.6%	1.5%
面接指導	24.4%	25.8%	17.3%
ジョブ・カードの作成の支援及び交付	7.9%	6.5%	5.9%
職場見学、職場体験、企業実習	24.9%	24.6%	30.0%
地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)	11.8%	12.5%	12.5%
外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談	10.1%	9.8%	9.7%
職業紹介	19.2%	19.0%	16.4%

※5%水準で統計的に有意に大きい箇所に網かけを付した。

また、給付金申請の有無でも統計的に有意な違いがみられた。図表4-37に示したとおり、給付金を「申請した」と回答した者は「職場見学、職場体験、企業実習」をもっと受けたかったと回答した割合が統計的に有意に高かった。一方、給付金を「申請していない」と回答した者は「面接指導」をもっと受けたかったと回答した割合が統計的に有意に高かった。

図表4-37 給付金の申請の有無別の「もっと受けたかった」ものの違い(複数回答)

	申請した N=1861	申請して いない N=1923
個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)	23.5%	23.4%
求人情報の提供	17.6%	17.6%
履歴書の作成指導	17.0%	17.6%
ハローワークが行う就職説明会のお知らせ	2.1%	2.4%
ハローワークへの訪問指示	1.6%	0.9%
面接指導	20.9%	24.0%
ジョブ・カードの作成の支援及び交付	7.2%	6.9%
職場見学、職場体験、企業実習	28.6%	24.2%
地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)	12.5%	11.6%
外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談	9.7%	10.3%
職業紹介	18.5%	17.8%

※5%水準で統計的に有意に大きい箇所には網かけを付した。

(7) 制度を知った媒体、制度利用の理由、希望している働き方との関連

制度を知った媒体、制度利用の理由、希望している働き方との関連を検討した結果、制度を知った媒体で統計的に有意な結果が示された。図表4-38に示したとおり、「ハローワーク職員に紹介された」と回答した者は(そのように回答しなかった者とくらべて;以下同じ)「ジョブ・カードの作成の支援及び交付」をもっと受けたかったと回答した割合が高かった。また、「求職者支援訓練実施機関の広報」と回答した者は「ハローワークへの訪問指示」「職業紹介」と回答した割合が高かった。さらに「家族や友人・知人に勧められた」と回答した者は「個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)」と回答した割合が高かった。その他、少数回答であるが「駅や電車等の車内の広告」と回答した者は「職業紹介」と回答した割合が高かった。

図表4-38 制度を知った媒体(複数回答)別の「もっと受けたかった」ものの違い(複数回答)

	ハローワーク職員に紹介された N=1287	ハローワークのパンフレット等の広報 N=1655	求職者支援訓練実施機関の広報 N=322	厚生労働省・労働局の広報 N=71	市区町村の役所・役場の広報 N=124	駅や電車等の車内の広告 N=6	その他の機関の広報 N=98	家族や友人・知人に勧められた N=1025	新聞、雑誌、テレビ等の報道 N=209	その他 N=242
個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)	22.2%	24.2%	23.9%	11.3%	21.8%	0.0%	25.5%	26.0%	22.5%	20.2%
求人情報の提供	18.2%	17.6%	20.1%	12.7%	16.8%	0.0%	21.4%	18.0%	19.6%	15.7%
履歴書の作成指導	18.2%	17.4%	15.5%	8.5%	21.6%	16.7%	17.3%	15.8%	14.8%	13.6%
ハローワークが行う就職説明会のお知らせ	2.8%	2.4%	2.5%	2.8%	3.2%	0.0%	1.0%	2.5%	2.9%	1.7%
ハローワークへの訪問指示	1.2%	1.0%	3.4%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	1.2%	1.4%	2.1%
面接指導	23.3%	21.8%	23.8%	19.7%	26.4%	16.7%	20.4%	22.6%	22.0%	21.9%
ジョブ・カードの作成の支援及び交付	9.3%	6.7%	8.7%	4.2%	8.0%	16.7%	8.2%	6.0%	7.2%	7.0%
職場見学、職場体験、企業実習	26.3%	26.8%	25.1%	35.2%	31.2%	33.3%	29.6%	26.3%	25.8%	31.4%
地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)	13.5%	12.9%	13.3%	14.1%	12.0%	0.0%	18.4%	11.1%	10.5%	13.2%
外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談	10.2%	9.9%	10.5%	12.7%	13.6%	0.0%	9.2%	9.6%	10.5%	11.6%
職業紹介	17.5%	18.9%	22.9%	19.7%	20.8%	50.0%	21.4%	17.8%	18.2%	17.8%

※5%水準で統計的に有意に大きい箇所には網かけを、有意に小さい箇所には下線を付した。表頭の「制度を知った媒体」は複数回答。表頭の媒体によって制度を知った者とそうでない者を比較して統計的な有意性の判定を行った。したがって、例えば「ハローワーク職員に紹介された」者は、そうでない者に比べて、統計的に有意に「ジョブカードの作成の支援及び交付」をもっと受けたかったと回答していたという解釈となる。なお、こうした比較を行っているため、Nの少ない箇所では表面上割合が大きくても統計的に有意にならない場合がある。

なお、制度利用の理由、希望している働き方との関連では、統計的に有意な結果が示されなかった。

## (8) 受講した訓練との関連

受講した訓練との関連でも統計的に有意な違いが示された。図表4-39に示したとおり、①受講した訓練分野が「IT分野」または「クリエート」の者は「地域の雇用情勢等に関する説明（職業人講話等）」と回答した割合が高かった。②「営業・販売・事務」または「医療事務」の者は「履歴書の作成指導」「面接指導」と回答した割合が高かった。③「介護福祉」の者は「ハローワークが行う就職説明会のお知らせ」「職場見学、職場体験、企業実習」と回答した割合が高かった。④「理容・美容」の者も「職場見学、職場体験、企業実習」と回答した割合が高かった。⑤「基礎コース」の者は「面接指導」と回答した割合が高かった。⑥「その他」の者は「外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談」と回答した割合が高かった。

図表4-39 受講した訓練分野別の「もっと受けたかった」ものの違い(複数回答)

	個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)	求人情報の提供	履歴書の作成指導	ハローワークが行う就職説明会のお知らせ	ハローワークへの訪問指示	面接指導	ジョブ・カードの作成の支援及び交付	職場見学、職場体験、企業実習	地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)	外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談	職業紹介
IT分野N=308	27.3%	17.5%	15.2%	3.6%	1.6%	17.8%	7.8%	22.7%	16.2%	9.4%	18.8%
営業・販売・事務N=426	25.6%	16.9%	20.7%	1.4%	0.7%	28.4%	7.3%	19.5%	12.7%	11.7%	18.3%
医療事務N=346	19.7%	18.5%	24.9%	2.3%	0.9%	29.8%	6.1%	25.1%	7.2%	7.2%	15.9%
介護福祉N=777	22.7%	16.6%	16.5%	3.7%	1.5%	18.9%	6.8%	39.3%	12.6%	8.0%	15.7%
クリエートN=308	21.4%	17.5%	12.3%	1.6%	0.3%	19.5%	6.5%	28.2%	17.5%	11.0%	21.8%
理容・美容N=269	23.0%	24.5%	11.5%	0.4%	1.5%	16.4%	3.0%	32.7%	9.7%	10.0%	20.5%
基礎コースN=578	26.3%	17.1%	17.5%	2.8%	1.2%	27.7%	8.5%	14.5%	10.7%	10.7%	18.3%
その他N=169	20.7%	18.9%	11.8%	1.8%	1.2%	15.4%	8.9%	28.4%	15.4%	14.8%	18.9%

※5%水準で統計的に有意に大きい箇所を網かけを、有意に小さい箇所を下線を付した。表側の分野を受講した者について表頭の事項を「もっと受けたかった」と回答した者とそうでない者の割合を比較して統計的な有意性の判定を行った。したがって、例えば「営業・販売・事務」を受講した者は「履歴書の作成の指導」を「もっと受けたかった」と回答した者が、そうは回答しなかった者に比べて、統計的に有意に多かったという解釈となる。

## 4. 受講した職業訓練分野の仕事をこなす自信

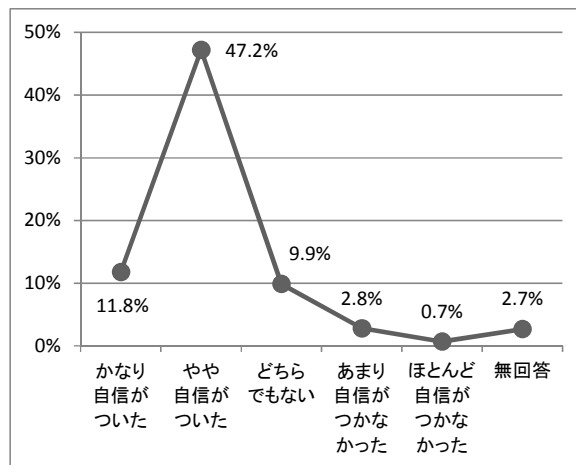
訓練後に「受講した訓練分野の仕事をこなす自信がついたか」についても質問を行った。「かなり自信がついた」「やや自信がついた」「どちらでもない」「あまり自信がつかなかった」「ほとんど自信がつかなかった」の5件法で回答を求めた。その結果、図表4-40に示したとおり、「やや自信がついた」と回答した者が5割弱と最も多く、次いで「かなり自信がついた」と回答した者が約1割であった。両者を合計すると約6割の者が自信がついたと回答していたことが示される<sup>4</sup>。

以下、他の要因との関連で統計的に有意な結果がみられたもののみ焦点を絞って示す。

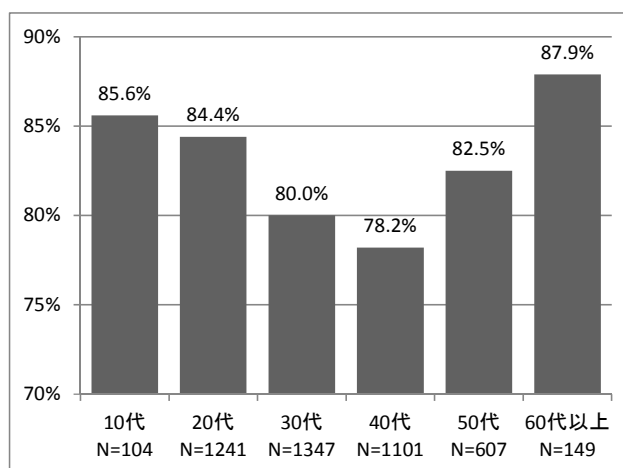
まず、年代との間で統計的に有意な結果が示された。図表4-41に示したとおり、「60

<sup>4</sup> なお、訓練後調査に回答しなかった者が約1/4いるため、図表4-40は合計しても100%とならない。訓練後調査に回答した者のみで集計した場合、「かなり自信がついた(16.2%)」「やや自信がついた(65.3%)」「どちらでもない(13.7%)」「あまり自信がつかなかった(3.9%)」「ほとんど自信がつかなかった(1.0%)」。

代以上」がもっとも自信がついたと回答していた。以下、「10代」「20代」「50代」と続いており、年代に対してU字型の関係にあったことが示される。



図表4-40 受講した職業訓練分野別の仕事をこなす自信

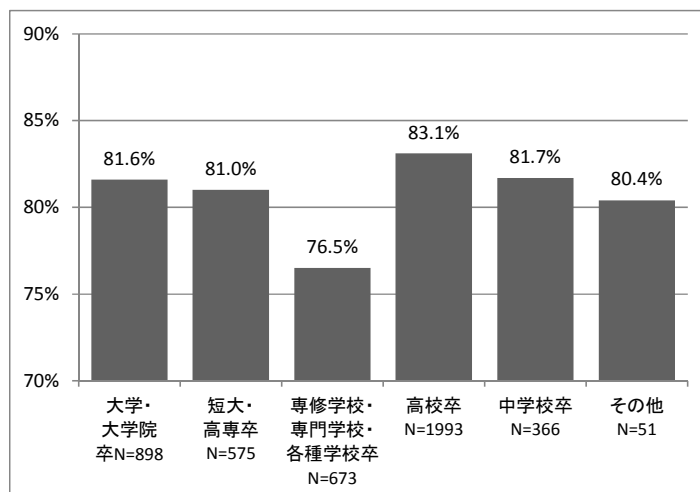


図表4-41 受講した職業訓練分野の仕事をつこなす自信  
(かなり自信がついた+やや自信がついた)の年齢別の違い

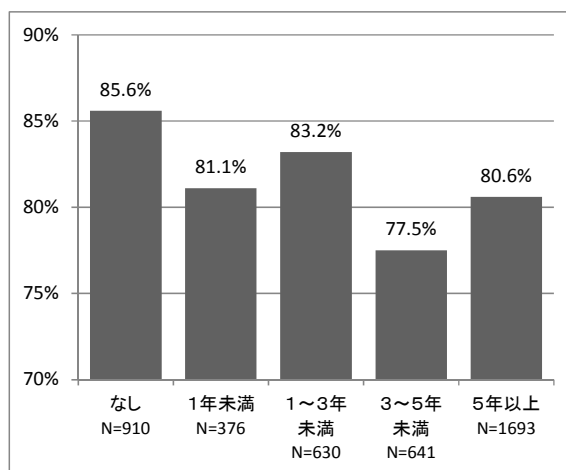
また、図表4-42に示したとおり、学歴別でも統計的に有意な結果がみられた。もっとも自信がついたと回答したのは「高校卒」であり、以下「中学校卒」「大学・大学院」と続いていた。「専修学校・専門学校・各種学校卒」の者は自信がついたと回答した割合が低かった。

さらに、図表4-43に示したとおり、正規就労経験年数でも統計的に有意な結果がみられた。正規就労経験年数が「なし」でもっとも自信がついたとする回答が多く、以下、「1～3年未満」「5年以上」と続いていた。

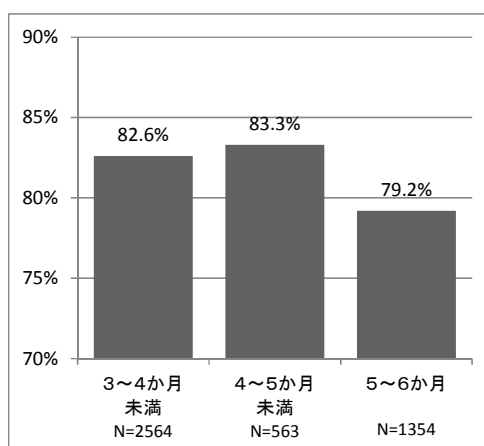
図表4-44に示したとおり、職業訓練期間別で統計的に有意な結果が示された。訓練期間が「4～5か月未満」の者が自信がついたと回答した割合が高く、「5～6か月」の者は自信がついたと回答した割合が低かった。



図表4-42 受講した職業訓練分野の仕事をこなす自信 (かなり自信がついた+やや自信がついた)の最終学歴別の違い

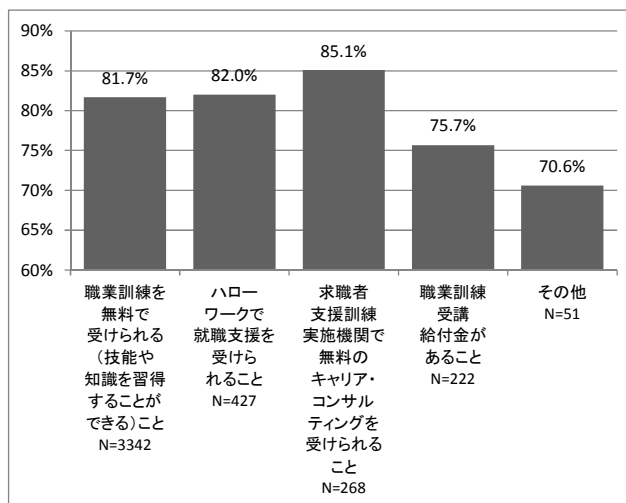


図表4-43 受講した職業訓練分野の仕事をこなす自信 (かなり自信がついた+やや自信がついた)の正規就労経験年数別の違い



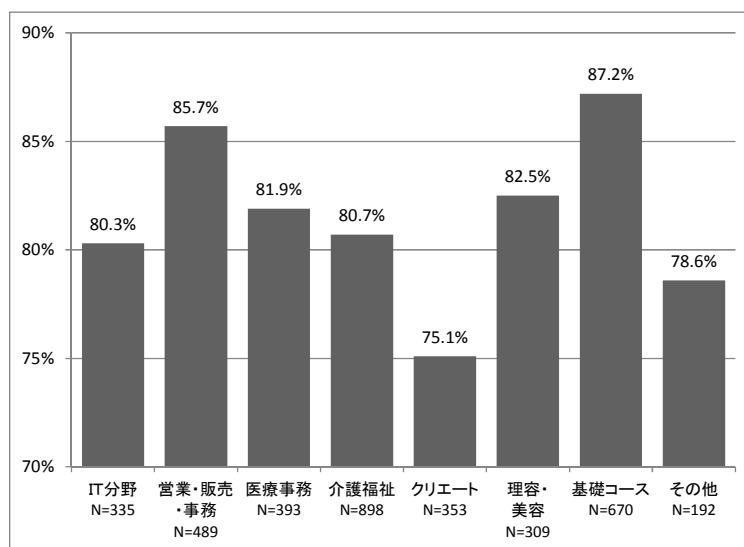
図表4-44 受講した訓練分野の仕事をこなす自信 (かなり自信がついた+やや自信がついた)の職業訓練期間別の違い

図表4-45に示したとおり、求職者支援制度を利用した理由で統計的に有意な結果が示された。「求職者支援訓練実施機関で無料のキャリア・コンサルティングを受けられること」が制度利用理由だった者は自信がついたと回答した割合が最も高かった。一方、「職業訓練受講給付金があること」が制度利用理由だった者は自信がついたと回答した割合が低かった。



図表4-45 受講した職業訓練分野の仕事をこなす自信(かなり自信がついた+やや自信がついた)の求職者支援制度利用理由別のものの違い

図表4-46に示したとおり、受講した職業訓練分野で統計的に有意な結果がみられた。「基礎コース」を受講した者がもっとも自信がついたと回答した割合が高かった。以下、「営業・販売・事務」「理容・美容」と続いていた。一方、「クリエート」を受講した者がもっとも自信がついたと回答した割合が低かった。



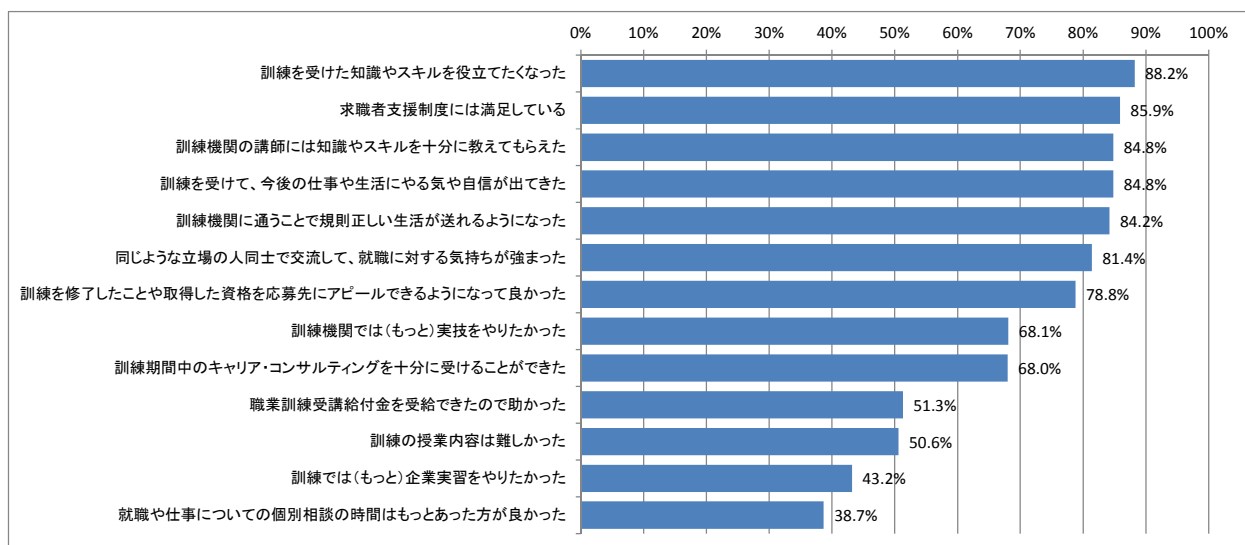
図表4-46 受講した訓練分野の仕事をこなす自信(かなり自信がついた+やや自信がついた)の受講した職業訓練分野別の違い



## 5. 求職者支援制度に対する感想

### (1) 全般的傾向

図表4-47に、求職者支援制度に対する感想を図示した。「あなたは、求職者支援制度を利用して、どのように感じましたか」という質問を設け、13項目でたずねた。回答は「よくあてはまる」「ややあてはまる」「どちらともいえない」「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」の5件法で求めた。図には「よくあてはまる」と「ややあてはまる」を合計した値を示した。その結果、「訓練を受けた知識やスキルを役立てたくなった」が9割弱と最も高く、以下「求職者支援制度には満足している」「訓練機関の講師には知識やスキルを十分に教えてもらった」「訓練を受けて、今後の仕事や生活にやる気や自信が出てきた」「訓練機関に通うことで規則正しい生活が送れるようになった」「同じような立場の人同士で交流して、就職に対する気持ちが強まった」などが8割強の割合で続いていた。逆に、「就職や仕事についての個別相談の時間はもっとあった方が良かった」「訓練では(もっと)企業実習をやりたいかった」「訓練の授業内容は難しかった」などの項目については「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した割合が少なかった。



図表4-47 求職者支援制度に対する感想(よくあてはまる+あてはまる;複数回答)

### (2) 性別、年齢、配偶者・子供の有無、学歴による違い

個人属性別に検討した結果、性別、年齢、配偶者・子供の有無、学歴のすべての点で統計的に有意な違いがみられた。

図表4-48に示したとおり、ほとんどの項目で統計的に有意な結果がみられたが、特に「就職や仕事についての個別相談の時間はもっとあった方が良かった」との感想は男性の方が多かった。一方、「訓練の授業内容は難しかった」「訓練を終了したことや取得した資格を応募先にアピールできるようになって良かった」などの感想は女性の方が特に多かった。

図表4-48 性別の求職者支援制度に対する感想(複数回答)

	男性 N=1527	女性 N=3153	差
訓練の授業内容は難しかった	44.9%	53.3%	8.4%
訓練機関の講師には知識やスキルを十分に教えてもらった	83.1%	85.7%	2.6%
訓練機関では(もっと)実技をやりたいかった	69.2%	67.5%	-1.7%
訓練では(もっと)企業実習をやりたいかった	47.6%	41.1%	-6.5%
訓練機関に通うことで規則正しい生活が送れるようになった	81.1%	85.7%	4.6%
訓練を受けた知識やスキルを役立てたくなった	85.7%	89.4%	3.7%
訓練を受けて、今後の仕事や生活にやる気や自信が出てきた	80.4%	87.0%	6.6%
訓練期間中のキャリア・コンサルティングを十分に受けることができた	63.6%	70.1%	6.5%
就職や仕事についての個別相談の時間はもっとあった方が良かった	44.7%	35.7%	-9.0%
同じような立場の人同士で交流して、就職に対する気持ちが強まった	78.7%	82.9%	4.2%
職業訓練受講給付金を受給できたので助かった	56.1%	49.0%	-7.1%
訓練を修了したことや取得した資格を応募先にアピールできるようになって良かった	73.5%	81.5%	8.0%
求職者支援制度には満足している	84.3%	86.7%	2.4%

※5%水準で統計的に有意に値が大きい箇所<sup>1</sup>に網かけを、有意に値が小さい箇所<sup>2</sup>に下線を付した。

図表4-49に年齢別の求職者支援制度に対する感想を示した。表から、概して「訓練の授業内容は難しかった」との感想は「20代」で少なく「40代」「50代」で多かった。一方、「訓練期間に通うことで規則正しい生活が送れるようになった」との感想は「20代」で多く「50代」で少なかった。同様に、「同じような立場の人同士で交流して、就職に対する気持ちが強まった」との感想は「20代」「30代」で多く「50代」「60代」で少なかった。

図表4-49 年齢別の求職者支援制度に対する感想(複数回答)

	10代 N=103	20代 N=1275	30代 N=1384	40代 N=1129	50代 N=609	60代 以上 N=151
訓練の授業内容は難しかった	48.5%	45.5%	49.9%	55.2%	54.7%	49.0%
訓練機関の講師には知識やスキルを十分に教えてもらった	89.4%	85.6%	85.4%	82.9%	84.6%	87.4%
訓練機関では(もっと)実技をやりたいかった	65.7%	67.3%	67.6%	70.0%	66.5%	71.1%
訓練では(もっと)企業実習をやりたいかった	45.1%	45.8%	43.2%	42.4%	39.9%	39.3%
訓練機関に通うことで規則正しい生活が送れるようになった	84.5%	86.4%	84.0%	84.4%	80.4%	80.8%
訓練を受けた知識やスキルを役立てたくなった	88.5%	88.2%	89.3%	87.9%	86.9%	85.8%
訓練を受けて、今後の仕事や生活にやる気や自信が出てきた	84.6%	84.6%	84.9%	84.9%	85.5%	83.4%
訓練期間中のキャリア・コンサルティングを十分に受けることができた	75.0%	68.7%	67.4%	67.4%	66.5%	70.7%
就職や仕事についての個別相談の時間はもっとあった方が良かった	40.8%	40.6%	36.9%	38.2%	38.4%	38.3%
同じような立場の人同士で交流して、就職に対する気持ちが強まった	81.6%	83.8%	83.3%	79.8%	78.0%	75.3%
職業訓練受講給付金を受給できたので助かった	58.8%	48.1%	53.2%	52.1%	52.1%	49.6%
訓練を修了したことや取得した資格を応募先にアピールできるようになって良かった	72.8%	77.2%	79.1%	81.0%	79.7%	75.8%
求職者支援制度には満足している	89.3%	85.0%	86.3%	85.5%	86.1%	89.9%

※5%水準で統計的に有意に値が大きい箇所<sup>1</sup>に網かけを、有意に値が小さい箇所<sup>2</sup>に下線を付した。

図表4-50には、配偶者×子供の有無別の求職者支援制度に対する感想を示した。「配偶者あり子供あり」の者は「訓練の授業内容は難しかった」「訓練機関の講師には知識やスキルを十分に教えてもらった」「訓練を受けて、今後の仕事や生活にやる気や自信が出てきた」「訓練期間中のキャリア・コンサルティングを十分に受けることができた」「訓練を修了したことや取得した資格を応募先にアピールできるようになって良かった」「求職者支援制度には満足している」との感想が統計的に有意に多かった。一方、「配偶者なし子供あり」の者は「訓練期間中のキャリア・コンサルティングを十分に受けることができた」「職業訓練受講給付金を受給できたので助かった」「訓練を修了したことや取得した資格を応募先にアピールできるよ

うになって良かった」との感想が統計的に有意に多かった。さらに、「配偶者なし子供なし」の者は「訓練では（もっと）企業実習をやりたかった」「就職や仕事についての個別相談の時間はもっとあった方が良かった」「職業訓練受講給付金を受給できたので助かった」との感想が統計的に有意に多かった。

図表4-50 配偶者有無×子供の有無別の求職者支援制度に対する感想(複数回答)

	配偶者あり 子供あり N=924	配偶者あり 子供なし N=379	配偶者なし 子供あり N=640	配偶者なし 子供なし N=2365
訓練の授業内容は難しかった	53.5%	51.2%	51.7%	48.2%
訓練機関の講師には知識やスキルを十分に教えてもらった	87.5%	87.3%	87.3%	83.6%
訓練機関では(もっと)実技をやりたかった	67.1%	61.8%	69.1%	69.1%
訓練では(もっと)企業実習をやりたかった	37.5%	39.4%	45.7%	44.7%
訓練機関に通うことで規則正しい生活が送れるようになった	84.2%	85.4%	83.9%	84.7%
訓練を受けた知識やスキルを役立てたくなった	89.2%	88.9%	87.3%	88.1%
訓練を受けて、今後の仕事や生活にやる気や自信が出てきた	88.9%	85.6%	86.2%	83.2%
訓練期間中のキャリア・コンサルティングを十分に受けることができた	72.3%	66.3%	72.1%	65.7%
就職や仕事についての個別相談の時間はもっとあった方が良かった	36.9%	32.6%	35.1%	40.2%
同じような立場の人同士で交流して、就職に対する気持ちが強まった	84.0%	83.4%	83.7%	80.4%
職業訓練受講給付金を受給できたので助かった	35.9%	37.5%	74.6%	52.7%
訓練を修了したことや取得した資格を応募先にアピールできるようになって良かった	82.3%	78.7%	85.1%	76.3%
求職者支援制度には満足している	88.5%	87.9%	88.0%	84.8%

※5%水準で統計的に有意に値が大きい箇所を網かけを、有意に値が小さい箇所を下線を付した。

図表4-51には、最終学歴別の求職者支援制度に対する感想を示した。「大学・大学院卒」の者は、「訓練機関に通うことで規則正しい生活が送れるようになった」「訓練を受けた知識やスキルを役立てたくなった」との感想が統計的に有意に多かった。一方、「中学校卒」では「訓練の授業内容は難しかった」「訓練では（もっと）企業実習をやりたかった」「職業訓練受講給付金を受給できたので助かった」との感想が統計的に有意に多かった。なお、「専修学校・専門学校・各種学校卒」では「訓練の授業内容は難しかった」、「高校卒」では「職業訓練受講給付金を受給できたので助かった」との感想が、それぞれ統計的に有意に多かった。

図表4-51 最終学歴別の求職者支援制度に対する感想(複数回答)

	大学・ 大学院卒 N=918	短大・ 高専卒 N=584	専修学校・ 専門学校・ 各種学校 卒 N=686	高校卒 N=2049	中学校卒 N=370	その他 N=53
訓練の授業内容は難しかった	43.8%	50.6%	54.2%	51.5%	56.5%	34.0%
訓練機関の講師には知識やスキルを十分に教えてもらった	85.7%	86.5%	83.2%	85.4%	81.4%	84.9%
訓練機関では(もっと)実技をやりたかった	63.3%	67.6%	69.8%	69.3%	69.8%	69.8%
訓練では(もっと)企業実習をやりたかった	44.8%	39.3%	44.6%	42.0%	49.2%	49.0%
訓練機関に通うことで規則正しい生活が送れるようになった	87.7%	83.7%	83.0%	83.5%	84.1%	77.4%
訓練を受けた知識やスキルを役立てたくなった	90.2%	88.9%	87.6%	88.0%	85.6%	77.4%
訓練を受けて、今後の仕事や生活にやる気や自信が出てきた	84.9%	85.5%	83.4%	85.4%	83.8%	79.2%
訓練期間中のキャリア・コンサルティングを十分に受けることができた	65.4%	70.5%	67.8%	68.3%	68.5%	69.8%
就職や仕事についての個別相談の時間はもっとあった方が良かった	39.5%	35.6%	37.8%	39.5%	38.3%	34.0%
同じような立場の人同士で交流して、就職に対する気持ちが強まった	80.5%	79.1%	82.0%	82.4%	82.2%	81.1%
職業訓練受講給付金を受給できたので助かった	40.7%	37.5%	49.4%	56.3%	73.4%	54.9%
訓練を修了したことや取得した資格を応募先にアピールできるようになって良かった	77.9%	77.3%	76.6%	80.5%	81.0%	71.2%
求職者支援制度には満足している	86.4%	86.0%	84.8%	85.9%	88.4%	80.8%

※5%水準で統計的に有意に値が大きい箇所を網かけを、有意に値が小さい箇所を下線を付した。

(3) 収入、資産、公的給付との関連

図表4-52に生計の担い手別の求職者支援制度に対する感想を示した。表に示したとおり、「生計の主な担い手」は「訓練では(もっと)企業実習をやりたかった」「職業訓練受講給付金を受給できたので助かった」「求職者支援制度には満足している」と回答した割合が統計的に有意に多かった。一方、「あなた以外の生計の主な担い手と同居」している者は「訓練期間中のキャリア・コンサルティングを十分に受けることができた」「同じような立場の人同士で交流して、就職に対する気持ちが強まった」と回答した割合が統計的に有意に多かった。

図表4-52 生計の担い手別の求職者支援制度に対する感想(複数回答)

	生計の 主な 担い手 N=1649	あなた 以外の 生計の 主な 担い手と 同居 N=2456	あなた 以外の 生計の 主な 担い手と 別居 N=114	その他 N=254
訓練の授業内容は難しかった	49.1%	50.9%	50.9%	55.1%
訓練機関の講師には知識やスキルを十分に教えてもらえた	83.7%	85.9%	88.6%	83.1%
訓練機関では(もっと)実技をやりたかった	69.4%	67.0%	70.2%	68.0%
訓練では(もっと)企業実習をやりたかった	45.3%	41.5%	50.0%	44.7%
訓練機関に通うことで規則正しい生活が送れるようになった	83.4%	85.1%	83.3%	83.0%
訓練を受けた知識やスキルを役立てた	88.7%	88.6%	87.7%	84.5%
訓練を受けて、今後の仕事や生活にやる気や自信が出てきた	84.7%	85.6%	83.3%	83.5%
訓練期間中のキャリア・コンサルティングを十分に受けることができた	65.5%	69.9%	70.2%	67.7%
就職や仕事についての個別相談の時間はもっとあった方が良かった	38.8%	38.3%	46.5%	36.8%
同じような立場の人同士で交流して、就職に対する気持ちが強まった	78.6%	84.2%	82.3%	80.6%
職業訓練受講給付金を受給できたので助かった	73.8%	33.6%	55.2%	61.6%
訓練を修了したことや取得した資格を応募先にアピールできるようになって良かった	80.9%	78.2%	80.5%	76.9%
求職者支援制度には満足している	87.7%	85.9%	86.5%	79.9%

※5%水準で統計的に有意に値が大きい箇所(網かけ)、有意に値が小さい箇所(下線を付した)。

図表4-53～図表4-55には、本人年収別・世帯収入別・金融資産別の求職者支援制度に対する感想を示した。表から示されるとおり、いずれも「なし」「0円超100万円以下」では「職業訓練受講給付金を受給できたので助かった」と回答する割合が統計的に有意に多かった。その他、本人収入および金融資産「0円超100万円以下」では「訓練を修了したことや取得した資格を応募先にアピールできるようになって良かった」と回答する割合が統計的に有意に多かった。

図表4-53 本人年収別の求職者支援制度に対する感想(複数回答)

	なし N=1156	0円超 100万円 以下 N=1847	100万円 超 200万円 以下 N=893	200万円 超 300万円 以下 N=367	300万円 超 400万円 以下 N=121	400万円 超 500万円 以下 N=45	500万円 超 600万円 以下 N=34	600万円 超 700万円 以下 N=10	700万円 超 N=17
訓練の授業内容は難しかった	50.6%	49.6%	51.9%	52.6%	50.8%	42.2%	47.1%	20.0%	47.1%
訓練機関の講師には知識やスキルを十分に教えてもらえた	83.9%	85.4%	84.9%	83.1%	91.7%	80.0%	88.2%	80.0%	88.2%
訓練機関では(もっと)実技をやりたかった	69.0%	68.2%	65.4%	71.4%	64.8%	62.2%	73.5%	80.0%	64.7%
訓練では(もっと)企業実習をやりたかった	45.5%	43.2%	42.8%	42.8%	41.5%	25.0%	35.3%	40.0%	41.2%
訓練機関に通うことで規則正しい生活が送れるようになった	85.1%	83.8%	85.2%	83.6%	89.4%	75.6%	85.3%	70.0%	82.4%
訓練を受けた知識やスキルを役立てた	87.6%	87.7%	88.6%	90.4%	90.2%	95.6%	91.2%	90.0%	88.2%
訓練を受けて、今後の仕事や生活にやる気や自信が出てきた	84.3%	85.7%	84.4%	85.3%	90.2%	80.0%	76.5%	90.0%	100.0%
訓練期間中のキャリア・コンサルティングを十分に受けることができた	66.3%	68.8%	69.7%	66.2%	68.0%	64.4%	61.8%	70.0%	70.6%
就職や仕事についての個別相談の時間はもっとあった方が良かった	40.1%	38.8%	37.2%	41.0%	31.1%	37.8%	35.3%	40.0%	29.4%
同じような立場の人同士で交流して、就職に対する気持ちが強まった	80.3%	82.3%	83.1%	81.7%	83.6%	64.4%	79.4%	70.0%	70.6%
職業訓練受講給付金を受給できたので助かった	56.6%	57.0%	45.9%	37.2%	26.6%	23.1%	21.4%	0.0%	13.3%
訓練を修了したことや取得した資格を応募先にアピールできるようになって良かった	77.9%	80.4%	79.1%	78.6%	84.3%	71.1%	70.6%	60.0%	82.4%
求職者支援制度には満足している	85.4%	87.0%	85.8%	84.6%	91.0%	84.1%	81.8%	70.0%	88.2%

※5%水準で統計的に有意に値が大きい箇所(網かけ)、有意に値が小さい箇所(下線を付した)。

図表4-54 世帯収入別の求職者支援制度に対する感想(複数回答)

	なし N=428	0円超 100万円 以下 N=668	100万円 超 200万円 以下 N=627	200万円 超 300万円 以下 N=578	300万円 超 400万円 以下 N=408	400万円 超 500万円 以下 N=218	500万円 超 600万円 以下 N=154	600万円 超 700万円 以下 N=130	700万円 超 N=185
訓練の授業内容は難しかった	50.4%	48.2%	50.9%	50.9%	53.2%	45.7%	47.7%	54.6%	50.0%
訓練機関の講師には知識やスキルを十分に教えてもらった	81.3%	84.6%	83.3%	85.3%	87.0%	87.6%	90.3%	90.0%	85.9%
訓練機関では(もっと)実技をやりたいかった	70.0%	67.6%	69.4%	70.9%	71.1%	62.1%	64.9%	60.8%	63.2%
訓練では(もっと)企業実習をやりたいかった	47.7%	44.5%	46.6%	45.9%	41.4%	32.9%	36.2%	37.5%	40.1%
訓練機関に通うことで規則正しい生活が送れるようになった	83.4%	82.0%	85.0%	83.3%	87.2%	83.1%	87.7%	81.5%	84.8%
訓練を受けた知識やスキルを役立てた	88.8%	88.4%	87.5%	88.4%	91.2%	91.2%	89.6%	91.5%	87.0%
訓練を受けて、今後の仕事や生活にやる気や自信が出てきた	82.9%	84.4%	85.0%	86.6%	85.7%	89.5%	90.9%	90.0%	84.3%
訓練期間中のキャリア・コンサルティングを十分に受けることができた	61.5%	69.0%	68.3%	65.7%	71.1%	71.7%	70.1%	73.1%	69.7%
就職や仕事についての個別相談の時間はもっとあった方が良かった	39.2%	38.8%	42.0%	40.2%	38.6%	36.1%	40.3%	36.9%	29.3%
同じような立場の人同士で交流して、就職に対する気持ちが強まった	76.5%	81.1%	80.7%	84.2%	84.3%	82.2%	87.0%	91.5%	75.5%
職業訓練受講給付金を受給できたので助かった	83.3%	79.1%	72.6%	55.8%	19.2%	15.7%	8.7%	7.5%	7.5%
訓練を修了したことや取得した資格を応募先にアピールできるようになって良かった	77.5%	83.8%	77.8%	79.7%	78.6%	83.9%	79.7%	83.1%	80.4%
求職者支援制度には満足している	85.5%	88.3%	87.7%	84.5%	82.7%	88.5%	91.3%	86.8%	86.5%

※5%水準で統計的に有意に値が大きい箇所に網かけを、有意に値が小さい箇所に下線を付した。

図表4-55 金融資産別の求職者支援制度に対する感想(複数回答)

	なし N=890	0円超 100万円 以下 N=1229	100万円 超 200万円 以下 N=388	200万円 超 300万円 以下 N=293	300万円 超 400万円 以下 N=176	400万円 超 500万円 以下 N=116	500万円 超 600万円 以下 N=76	600万円 超 700万円 以下 N=44	700万円 超 800万円 以下 N=37	800万円 超 900万円 以下 N=17	900万円 超 1000万円 以下 N=44	1000万円 超 N=174
訓練の授業内容は難しかった	50.4%	51.1%	51.0%	54.3%	47.9%	42.1%	40.9%	64.9%	41.2%	38.6%	49.7%	
訓練機関の講師には知識やスキルを十分に教えてもらった	84.6%	85.2%	83.0%	81.9%	86.9%	86.2%	90.8%	79.5%	91.9%	88.2%	84.1%	88.5%
訓練機関では(もっと)実技をやりたいかった	68.8%	67.6%	70.0%	70.6%	69.9%	64.1%	64.5%	61.4%	67.6%	64.7%	65.9%	63.6%
訓練では(もっと)企業実習をやりたいかった	45.6%	43.5%	45.4%	49.0%	39.3%	33.6%	41.3%	36.4%	40.0%	47.1%	47.6%	39.3%
訓練機関に通うことで規則正しい生活が送れるようになった	82.6%	83.6%	79.5%	87.7%	87.4%	77.8%	85.5%	88.6%	89.2%	76.5%	86.4%	86.6%
訓練を受けた知識やスキルを役立てた	86.0%	88.9%	89.0%	86.9%	92.0%	84.6%	96.1%	90.9%	86.5%	76.5%	81.8%	91.4%
訓練を受けて、今後の仕事や生活にやる気や自信が出てきた	84.5%	84.9%	84.6%	83.2%	87.5%	84.6%	96.1%	88.6%	91.9%	76.5%	84.1%	85.6%
訓練期間中のキャリア・コンサルティングを十分に受けることができた	69.4%	67.4%	65.9%	65.3%	67.6%	73.5%	73.7%	56.8%	67.6%	58.8%	70.5%	70.1%
就職や仕事についての個別相談の時間はもっとあった方が良かった	43.1%	38.0%	35.4%	42.3%	33.0%	34.2%	46.1%	45.5%	48.6%	35.3%	45.5%	28.2%
同じような立場の人同士で交流して、就職に対する気持ちが強まった	81.1%	80.1%	82.6%	80.8%	84.7%	87.2%	94.7%	88.4%	78.4%	76.5%	75.0%	83.2%
職業訓練受講給付金を受給できたので助かった	78.1%	77.8%	59.5%	44.2%	9.7%	7.7%	5.8%	2.5%	0.0%	7.1%	2.7%	5.1%
訓練を修了したことや取得した資格を応募先にアピールできるようになって良かった	80.9%	82.3%	82.1%	75.1%	79.0%	79.3%	85.3%	84.1%	67.6%	76.5%	62.8%	75.9%
求職者支援制度には満足している	87.3%	87.9%	87.9%	83.7%	83.0%	83.5%	82.9%	84.1%	89.2%	82.4%	88.1%	86.1%

※5%水準で統計的に有意に値が大きい箇所に網かけを、有意に値が小さい箇所に下線を付した。

図表4-56には、生活保護の受給の有無別の求職者訓練に対する感想を示した。生活保護の受給を「受けている」者は、「訓練機関では(もっと)実技をやりたいかった」「訓練では(もっと)企業実習をやりたいかった」「就職や仕事についての個別相談の時間はもっとあった方が良かった」「職業訓練受講給付金を受給できたので助かった」と回答した割合が統計的に有意に多かった。

図表4-56 生活保護の受給の有無別の求職者支援制度に対する感想(複数回答)

	受けていない N=4148	受けている N=299
訓練の授業内容は難しかった	50.2%	53.3%
訓練機関の講師には知識やスキルを十分に教えてもらった	84.9%	84.9%
訓練機関では(もっと)実技をやりたいかった	67.4%	74.7%
訓練では(もっと)企業実習をやりたいかった	42.9%	50.7%
訓練機関に通うことで規則正しい生活が送れるようになった	84.5%	85.0%
訓練を受けた知識やスキルを役立てた	88.4%	87.7%
訓練を受けて、今後の仕事や生活にやる気や自信が出てきた	85.1%	83.7%
訓練期間中のキャリア・コンサルティングを十分に受けることができた	67.9%	68.4%
就職や仕事についての個別相談の時間はもっとあった方が良かった	38.5%	44.5%
同じような立場の人同士で交流して、就職に対する気持ちが強まった	81.8%	78.7%
職業訓練受講給付金を受給できたので助かった	49.5%	81.0%
訓練を修了したことや取得した資格を応募先にアピールできるようになって良かった	78.9%	81.6%
求職者支援制度には満足している	86.2%	85.7%

※5%水準で統計的に有意に値が大きい箇所に網かけを、有意に値が小さい箇所に下線を付した。

(4) 就労経験および雇用保険受給状況等との関連

図表4-57には直近の働き方別の求職者支援制度に対する感想を示した。表に示されるとおり、「派遣社員」「パート・アルバイト」「自営業・家族従業員」では「職業訓練受講給付金を受給できたので助かった」との回答が統計的に有意に多かった。また、「パート・アルバイト」では「訓練機関の講師には知識やスキルを十分に教えてもらった」との回答も統計的に有意に多かった。

図表4-57 直近の働き方別の求職者支援制度に対する感想(複数回答)

	正社員・ 正職員 N=1281	契約 社員 N=484	派遣 社員 N=424	パート・ アルバイト N=2123	自営業・ 家族 従業員 N=126	働いた 経験が ない N=59	その他 N=72
訓練の授業内容は難しかった	49.8%	47.8%	47.3%	52.0%	56.5%	41.4%	57.5%
訓練機関の講師には知識やスキルを十分に教えてもらった	85.9%	83.9%	79.0%	86.4%	76.2%	84.7%	84.7%
訓練機関では(もっと)実技をやりたいかった	68.1%	66.6%	69.9%	67.9%	70.4%	64.4%	67.1%
訓練では(もっと)企業実習をやりたいかった	43.2%	38.7%	46.4%	43.7%	45.1%	44.4%	44.9%
訓練機関に通うことで規則正しい生活が送れるようになった	84.4%	83.2%	83.9%	84.4%	86.5%	82.8%	84.9%
訓練を受けた知識やスキルを役立てたくなった	89.1%	85.4%	88.1%	88.2%	87.3%	91.5%	91.8%
訓練を受けて、今後の仕事や生活にやる気や自信が出てきた	85.5%	83.9%	84.4%	85.0%	86.5%	74.6%	80.8%
訓練期間中のキャリア・コンサルティングを十分に受けることができた	67.3%	67.4%	66.0%	69.3%	59.5%	59.3%	69.9%
就職や仕事についての個別相談の時間はもっとあった方が良かった	38.8%	40.9%	38.1%	37.7%	39.7%	35.6%	37.0%
同じような立場の人同士で交流して、就職に対する気持ちが強まった	82.5%	77.9%	81.1%	82.3%	81.7%	74.6%	78.1%
職業訓練受講給付金を受給できたので助かった	40.5%	50.0%	57.5%	55.1%	75.6%	52.7%	54.7%
訓練を修了したことや取得した資格を応募先にアピールできるようになって良かった	78.9%	79.6%	73.0%	80.0%	85.6%	63.8%	79.2%
求職者支援制度には満足している	84.9%	84.4%	83.9%	87.1%	87.3%	86.2%	86.1%

※5%水準で統計的に有意に値が大きい箇所に網かけを、有意に値が小さい箇所に下線を付した。

図表4-58に正規就労経験別の求職者支援制度に対する感想を示した。明確な結果は得られなかったが、正規就労経験が「1～3年未満」では「職業訓練受講給付金を受給できたので助かった」、「3～5年未満」では「求職者支援制度には満足している」と回答した割合が統計的に有意に多かった。

図表4-58 正規就労経験別の求職者支援制度に対する感想(複数回答)

	なし N=929	1年未満 N=380	1～3年 未満 N=652	3～5年 未満 N=663	5年以上 N=1720
訓練の授業内容は難しかった	47.2%	48.6%	54.0%	50.6%	52.0%
訓練機関の講師には知識やスキルを十分に教えてもらった	86.0%	83.7%	85.4%	85.1%	84.6%
訓練機関では(もっと)実技をやりたいかった	68.0%	64.2%	67.1%	66.6%	68.9%
訓練では(もっと)企業実習をやりたいかった	44.5%	47.6%	44.9%	41.4%	41.3%
訓練機関に通うことで規則正しい生活が送れるようになった	85.8%	84.5%	84.2%	83.1%	83.3%
訓練を受けた知識やスキルを役立てたくなった	88.8%	87.3%	89.0%	88.5%	88.0%
訓練を受けて、今後の仕事や生活にやる気や自信が出てきた	84.4%	85.3%	84.5%	84.4%	85.5%
訓練期間中のキャリア・コンサルティングを十分に受けることができた	67.6%	69.0%	70.9%	66.7%	67.2%
就職や仕事についての個別相談の時間はもっとあった方が良かった	39.8%	43.8%	36.9%	35.4%	38.5%
同じような立場の人同士で交流して、就職に対する気持ちが強まった	83.9%	82.6%	81.1%	81.1%	80.2%
職業訓練受講給付金を受給できたので助かった	53.0%	51.1%	56.2%	52.1%	47.7%
訓練を修了したことや取得した資格を応募先にアピールできるようになって良かった	77.6%	78.9%	80.6%	80.1%	79.0%
求職者支援制度には満足している	87.8%	84.8%	84.8%	88.6%	84.4%

※5%水準で統計的に有意に値が大きい箇所に網かけを、有意に値が小さい箇所に下線を付した。

図表4-59には非正規就労経験別の求職者支援制度に対する感想を示した。非正規就労経験が「なし」では「訓練機関の講師には知識やスキルを十分に教えてもらった」、「3～5

年未満」「5年以上」では「職業訓練受講給付金を受給できたので助かった」と回答した割合が統計的に有意に多かった

図表4-59 非正規就労経験別の求職者支援制度に対する感想(複数回答)

	なし N=390	1年未満 N=551	1~3年 未満 N=727	3~5年 未満 N=671	5年以上 N=1399
訓練の授業内容は難しかった	47.2%	48.6%	50.1%	49.1%	52.0%
訓練機関の講師には知識やスキルを十分に教えてもらえた	88.5%	85.3%	86.9%	85.7%	82.3%
訓練機関では(もっと)実技をやりたかった	64.6%	64.9%	70.8%	65.6%	67.9%
訓練では(もっと)企業実習をやりたかった	38.7%	47.4%	45.2%	42.3%	42.4%
訓練機関に通うことで規則正しい生活が送れるようになった	83.8%	83.8%	86.5%	82.7%	82.9%
訓練を受けた知識やスキルを役立てたくなった	89.2%	88.2%	88.7%	86.2%	89.3%
訓練を受けて、今後の仕事や生活にやる気や自信が出てきた	84.1%	82.5%	85.7%	83.6%	85.3%
訓練期間中のキャリア・コンサルティングを十分に受けることができた	66.1%	69.0%	69.4%	65.5%	66.9%
就職や仕事についての個別相談の時間はもっとあった方が良かった	38.3%	41.8%	39.6%	40.3%	35.3%
同じような立場の人同士で交流して、就職に対する気持ちが強まった	80.8%	80.2%	83.0%	80.5%	81.3%
職業訓練受講給付金を受給できたので助かった	34.6%	55.1%	49.1%	55.3%	53.6%
訓練を修了したことや取得した資格を応募先にアピールできるようになって良かった	76.1%	77.3%	79.6%	79.9%	79.5%
求職者支援制度には満足している	86.6%	84.9%	86.3%	85.7%	86.0%

※5%水準で統計的に有意に値が大きい箇所には網かけを、有意に値が小さい箇所に下線を付した。

図表4-60に最近の離職からの求職期間別の求職者支援制度に対する感想を示した。求職期間が「6か月～1年未満」「1年～1年6か月未満」「1年6か月～2年未満」「2年～3年未満」「4年～5年未満」の者は「職業訓練受講給付金を受給できたので助かった」と回答した割合が統計的に有意に高かった。

図表4-60 最近の離職からの求職期間別の求職者支援制度に対する感想(複数回答)

	1か月 未満 N=637	1~2 か月 未満 N=646	2~3 か月 未満 N=495	3~6 か月 未満 N=995	6か月 ~ 1年 未満 N=756	1年 ~ 1年6 か月 未満 N=296	1年 6か月 ~ 2年 未満 N=153	2年~ 3年 未満 N=176	3年~ 4年 未満 N=74	4年~ 5年 未満 N=49	5年 以上 N=154
訓練の授業内容は難しかった	49.6%	48.3%	51.3%	51.2%	51.6%	49.3%	51.3%	53.4%	41.9%	60.0%	56.2%
訓練機関の講師には知識やスキルを十分に教えてもらえた	84.0%	86.4%	84.6%	85.4%	84.4%	85.0%	84.3%	85.2%	87.8%	87.8%	83.1%
訓練機関では(もっと)実技をやりたかった	69.1%	66.4%	70.7%	66.9%	67.1%	66.9%	66.2%	74.4%	72.0%	68.0%	68.2%
訓練では(もっと)企業実習をやりたかった	46.0%	44.8%	47.1%	37.3%	42.7%	45.9%	38.8%	50.0%	47.3%	40.0%	42.8%
訓練機関に通うことで規則正しい生活が送れるようになった	82.7%	85.1%	85.6%	84.2%	85.7%	82.4%	78.3%	86.4%	84.0%	86.0%	82.6%
訓練を受けた知識やスキルを役立てたくなった	87.6%	90.4%	88.3%	88.4%	88.4%	87.0%	86.3%	87.4%	88.0%	87.8%	88.3%
訓練を受けて、今後の仕事や生活にやる気や自信が出てきた	85.0%	86.8%	83.3%	85.6%	86.0%	82.3%	84.9%	81.3%	86.5%	90.0%	81.8%
訓練期間中のキャリア・コンサルティングを十分に受けることができた	66.4%	71.8%	69.8%	70.0%	66.0%	65.2%	60.5%	61.9%	68.0%	64.0%	68.4%
就職や仕事についての個別相談の時間はもっとあった方が良かった	36.5%	40.1%	39.5%	36.6%	39.5%	42.2%	39.5%	46.6%	33.3%	48.0%	33.1%
同じような立場の人同士で交流して、就職に対する気持ちが強まった	81.1%	82.6%	81.5%	82.5%	83.4%	81.4%	77.8%	79.9%	77.3%	72.0%	79.4%
職業訓練受講給付金を受給できたので助かった	54.0%	46.5%	43.6%	44.6%	58.5%	61.1%	61.7%	62.9%	58.0%	66.0%	47.9%
訓練を修了したことや取得した資格を応募先にアピールできるようになって良かった	79.9%	80.4%	77.7%	79.2%	80.0%	80.2%	75.8%	76.1%	74.3%	83.7%	80.0%
求職者支援制度には満足している	86.7%	85.4%	85.2%	86.0%	84.7%	88.1%	86.8%	83.0%	82.7%	92.0%	86.9%

※5%水準で統計的に有意に値が大きい箇所には網かけを、有意に値が小さい箇所に下線を付した。

図表4-61に雇用保険受給状況別の求職者支援制度に対する感想を示した。「加入していなかったため、受給していない」者は「訓練では(もっと)企業実習をやりたかった」「職業訓練受講給付金を受給できたので助かった」「求職者支援制度には満足している」と回答する割合が統計的に有意に多かった。その他、「加入したが被保険者期間が足りず、受給していない」および「受給が終了している」でも「職業訓練受講給付金を受給できたので助かった」と回答した割合が統計的に有意に多かった。

図表4-61 雇用保険受給状況別の求職者支援制度に対する感想(複数回答)

	加入して いなかった ため、 受給して いない N=1580	加入したが 被保険者 期間が 足りず、 受給して いない N=546	受給して いる (待期中・ 給付制限 中を含む) N=1233	受給が 終了して いる N=994
訓練の授業内容は難しかった	51.8%	45.7%	52.2%	50.8%
訓練機関の講師には知識やスキルを十分に教えてもらえた	85.7%	86.4%	84.6%	84.5%
訓練機関では(もっと)実技をやりたいかった	69.7%	66.0%	67.4%	67.4%
訓練では(もっと)企業実習をやりたいかった	45.3%	46.8%	39.6%	42.7%
訓練機関に通うことで規則正しい生活が送れるようになった	84.3%	84.7%	84.1%	84.1%
訓練を受けた知識やスキルを役立てたくなった	87.9%	88.0%	89.0%	88.6%
訓練を受けて、今後の仕事や生活にやる気や自信が出てきた	84.4%	84.7%	85.3%	85.3%
訓練期間中のキャリア・コンサルティングを十分に受けることができた	68.5%	67.3%	68.4%	65.9%
就職や仕事についての個別相談の時間はもっとあった方が良かった	39.2%	39.1%	35.9%	40.7%
同じような立場の人同士で交流して、就職に対する気持ちが強まった	81.2%	81.5%	83.0%	80.8%
職業訓練受講給付金を受給できたので助かった	61.2%	64.1%	23.5%	61.9%
訓練を修了したことや取得した資格を応募先にアピールできるようになって良かった	79.4%	80.6%	77.0%	80.4%
求職者支援制度には満足している	88.2%	86.2%	83.7%	85.0%

※5%水準で統計的に有意に値が大きい箇所(網かけ)を、有意に値が小さい箇所(下線を付した)。

#### (6) 受講した訓練との関連

図表4-62に訓練期間別の求職者支援制度に対する感想を示した。表に示されるとおり、訓練期間が「3～4か月未満」の者は、「訓練機関の講師には知識やスキルを十分に教えてもらえた」「訓練機関に通うことで規則正しい生活が送れるようになった」「訓練を受けて、今後の仕事や生活にやる気や自信が出てきた」「訓練期間中のキャリア・コンサルティングを十分に受けることができた」「同じような立場の人同士で交流して、就職に対する気持ちが強まった」と回答した割合が統計的に有意に多かった。一方、「5～6か月」の者は「訓練の授業内容は難しかった」「訓練では(もっと)企業実習をやりたいかった」「職業訓練受講給付金を受給できたので助かった」と回答した割合が統計的に有意に多かった。なお、「4～5か月未満」では「訓練機関の講師には知識やスキルを十分に教えてもらえた」「求職者支援制度には満足している」と回答した割合が統計的に有意に多かった。

また、図表4-63には、訓練コース別の求職者支援制度に対する感想を示した。「医療事務」では「訓練の授業内容は難しかった」「訓練機関の講師には知識やスキルを十分に教えてもらえた」「訓練機関に通うことで規則正しい生活が送れるようになった」「同じような立場の人同士で交流して、就職に対する気持ちが強まった」「訓練を修了したことや取得した資格を応募先にアピールできるようになって良かった」との回答が統計的に有意に多かった。一方、「介護福祉」では「訓練機関では(もっと)実技をやりたいかった」「訓練では(もっと)企業実習をやりたいかった」「同じような立場の人同士で交流して、就職に対する気持ちが強まった」「職業訓練受講給付金を受給できたので助かった」「訓練を修了したことや取得した資格を応募先にアピールできるようになって良かった」との回答が統計的に有意に多かった。

その他、「営業・販売・事務」では「求職者支援制度には満足している」、「クリエイト」では「訓練の授業内容は難しかった」、「理容・美容」では「訓練機関では(もっと)実技をや



りたかった」「訓練機関に通うことで規則正しい生活が送れるようになった」、「基礎コース」では「訓練機関の講師には知識やスキルを十分に教えてもらった」「訓練期間中のキャリア・コンサルティングを十分に受けることができた」との回答が統計的に有意に多かった。

図表4-62 訓練期間別の求職者支援制度に対する感想(複数回答)

	3~4か月 未満 N=2612	4~5か月 未満 N=577	5~6か月 N=1392
訓練の授業内容は難しかった	49.2%	47.2%	54.5%
訓練機関の講師には知識やスキルを十分に教えてもらった	86.7%	87.9%	80.5%
訓練機関では(もっと)実技をやりたいかった	67.9%	68.8%	67.8%
訓練では(もっと)企業実習をやりたいかった	41.6%	40.2%	47.7%
訓練機関に通うことで規則正しい生活が送れるようになった	86.4%	83.3%	80.4%
訓練を受けた知識やスキルを役立てなくなった	88.2%	90.3%	87.6%
訓練を受けて、今後の仕事や生活にやる気や自信が出てきた	86.2%	86.5%	81.6%
訓練期間中のキャリア・コンサルティングを十分に受けることができた	70.8%	68.3%	62.1%
就職や仕事についての個別相談の時間はもっとあった方が良かった	38.2%	40.3%	38.2%
同じような立場の人同士で交流して、就職に対する気持ちが強まった	83.3%	83.2%	77.9%
職業訓練受講給付金を受給できたので助かった	46.0%	49.7%	61.5%
訓練を修了したことや取得した資格を応募先にアピールできるようになって良かった	80.1%	76.7%	77.6%
求職者支援制度には満足している	86.0%	89.9%	84.3%

※5%水準で統計的に有意に値が大きい箇所に網かけを、有意に値が小さい箇所に下線を付した。

図表4-63 訓練コース別の求職者支援制度に対する感想(複数回答)

	IT分野 N=344	営業・ 販売・ 事務 N=495	医療 事務 N=397	介護 福祉 N=924	クリ エート N=359	美容・ 美容 N=316	基礎 コース N=682	その他 N=195
訓練の授業内容は難しかった	53.8%	50.6%	68.8%	51.1%	57.2%	36.7%	43.7%	34.5%
訓練機関の講師には知識やスキルを十分に教えてもらった	83.7%	85.7%	91.9%	85.0%	78.8%	81.6%	89.6%	79.5%
訓練機関では(もっと)実技をやりたいかった	68.4%	61.0%	61.4%	74.5%	68.5%	77.8%	64.8%	66.2%
訓練では(もっと)企業実習をやりたいかった	38.0%	35.7%	42.6%	57.8%	42.5%	44.6%	31.7%	45.7%
訓練機関に通うことで規則正しい生活が送れるようになった	83.1%	86.1%	91.0%	81.9%	79.7%	90.2%	83.7%	83.5%
訓練を受けた知識やスキルを役立てなくなった	90.4%	90.5%	91.7%	86.2%	90.5%	91.1%	89.8%	88.2%
訓練を受けて、今後の仕事や生活にやる気や自信が出てきた	83.0%	88.1%	87.0%	84.0%	82.7%	86.1%	87.8%	82.6%
訓練期間中のキャリア・コンサルティングを十分に受けることができた	65.3%	70.0%	72.0%	66.7%	60.8%	65.5%	74.0%	64.1%
就職や仕事についての個別相談の時間はもっとあった方が良かった	36.3%	41.8%	35.4%	41.3%	35.3%	35.1%	38.2%	36.6%
同じような立場の人同士で交流して、就職に対する気持ちが強まった	77.0%	80.4%	89.2%	85.8%	77.5%	84.8%	80.4%	75.9%
職業訓練受講給付金を受給できたので助かった	55.8%	46.6%	43.6%	58.3%	45.6%	48.8%	50.3%	53.0%
訓練を修了したことや取得した資格を応募先にアピールできるようになって良かった	72.9%	78.4%	86.9%	84.6%	76.9%	72.2%	80.2%	69.6%
求職者支援制度には満足している	86.8%	89.7%	89.4%	85.1%	85.2%	82.2%	88.0%	83.0%

※5%水準で統計的に有意に値が大きい箇所に網かけを、有意に値が小さい箇所に下線を付した。

## 6. 訓練後の状況・感想に関する結果(小括)

ここまで、求職者支援訓練の訓練後の利用者の状況・感想等について、おもに訓練後調査の結果を用いて、①訓練後の利用者の状況、②訓練期間で受けた就職支援、キャリア・コンサルティングのうち「役に立ったもの」、③訓練期間で受けた就職支援、キャリア・コンサルティングのうち「もっと受けたかったもの」、④受講した訓練分野の仕事をこなす自信がついたか、⑤求職者支援制度に対する感想の5つの側面から分析を行った。それぞれ主だった結果は以下のとおり整理される。

## (1) 訓練後の状況

訓練前調査に回答した6割弱が「訓練を最後まで受講し、求職活動中」と答えた。また、1割強が「訓練を最後まで受講し、就職が決まった」と答えた。ただし、訓練前調査に回答した者のうち約1/4が訓練後調査に回答しなかった。

「訓練を最後まで受講し、求職活動中」と回答した者には、正規就労経験が5年以上の者、給付金を受給しなかった者、求職者支援制度を「ハローワーク職員に紹介された」「ハローワークのパンフレット等の広報」で知った者、訓練コースが「基礎コース」だった者が多かった。

「訓練を最後まで受講し、就職が決まった」と回答した者には、女性、子供がいる者、受講訓練期間が「5～6か月」の者、給付金を受給した者、求職者支援制度を「家族や友人・知人に勧められた」者、訓練コースが「介護福祉」だった者が多かった。

なお、訓練後調査に回答しなかった「無回答」は、男性、受講訓練期間が「5～6か月」の者、訓練コースが「営業・販売・事務」だった者が多かったが、うち、受講訓練期間が「5～6か月」の者、訓練コースが「営業・販売・事務」だった者では、「訓練を最後まで受講し、就職が決まった」者も多く、少なからず就職が決まったために訓練後調査に回答しなかった者も多く含まれることが推測される。

## (2) 就職支援およびキャリア・コンサルティングで「役に立ったもの」

訓練後調査に回答した6割弱が「履歴書の作成指導」「個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)」「ジョブ・カードの作成の支援及び交付」が役立ったと答えた。また、3割強が「求人情報の提供」「面接指導」「職場見学、職場体験、企業実習」が役立ったと答えた。

なかでも、個人属性ごとに顕著な結果がみられたのは、「履歴書の作成指導」「ジョブ・カードの作成の支援及び交付」「面接指導」であったので、以下に結果をまとめる。

まず、「履歴書の作成指導」が役立ったと回答したのは、女性、高校卒、直近の働き方が「パート・アルバイト」の者、雇用保険に「加入していなかったために、受給していない」者、訓練期間が「3～4か月」の者、「ハローワークで就職支援を受けられること」が利用理由の者、「パート・アルバイト」を希望している者、訓練コースが「基礎コース」または「医療事務」であった者に多かった。

次に、「ジョブ・カードの作成の支援及び交付」が役立ったと回答したのは、50代、60代、正規就労経験が「5年以上」の者、訓練期間が「3～4か月」の者、制度を「ハローワーク職員に紹介された」者および「求職者支援訓練実施機関の広報」で知った者、「ハローワークで就職支援を受けられること」が利用理由の者、訓練コースが「基礎コース」であった者に多かった。

最後に「面接指導」については、最終学歴が「高校卒」の者、主な生計の担い手と同居している者、直近の働き方が「パート・アルバイト」であった者、雇用保険に「加入していなかったために、受給していない」者、訓練期間が「3～4か月」の者、給付金を申請しな

った者、「ハローワーク職員に紹介」されて制度を知った者、訓練コースが「基礎コース」または「医療事務」であった者に多かった。

その他、個別の結果として、①40～50代では「ハローワークが行う就職説明会のお知らせ」が役立ったとする割合が高かった。また、50～60代では「地域の雇用情勢等に関する説明（職業人講話等）」が役立ったとする割合が高かった。②最終学歴が「高校卒」「中学校卒」の者、訓練期間が「5～6か月」の者、給付金を申請した者は「職場見学、職場体験、企業実習」が役立ったとする割合が高かった。③概して「介護福祉」または「基礎コース」の分野で訓練を受講した者は「役に立った」と回答した割合が総じて高かった。

### （3）就職支援およびキャリア・コンサルティングで「もっと受けたかった」もの

訓練後調査で「調査機関で受けた就職支援、キャリア・コンサルティングのうちもっと受けたかったもの」についてたずねた結果、2割強が「職場見学、職場体験、企業実習」「個別の職業相談（キャリア・コンサルティング）」「面接指導」と回答した。これら「もっと受けたかった」との回答が多かったものについて、特にその特徴を集約すると以下のとおりであった。

「職場見学、職場体験、企業実習」は、訓練期間が「5～6か月」の者、給付金を「申請した」と回答した者、訓練コースが「介護福祉」または「理容・美容」だった者が特に希望していた。

「個別の職業相談（キャリア・コンサルティング）」を「もっと受けたかった」と回答したのは、男性、「生活保護」を受給している者、正規就労経験が「なし」の者、「家族や友人・知人に勧められた」と回答した者が特に希望していた。

「面接指導」は10～20代、「生計の主な担い手と同居」している者、直近の働き方が「パート・アルバイト」「働いた経験がない」の者、正規就労経験が「なし」の者、雇用保険に「加入していなかったため、受給していない」と回答した者、訓練期間が「3～4か月未満」の者、給付金を「申請していない」と回答した者、訓練コースが「営業・販売・事務」「医療事務」「基礎コース」の者だった者が特に希望していた。

その他、就職支援・キャリア支援に対する希望は年齢によっておもに分かれており、「履歴書の作成指導」はどちらかと言えば20代を中心とした若年者、「ジョブ・カードの作成の支援及び交付」「地域の雇用情勢等に関する説明（職業人講話等）」「外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談」は40代～60代を中心とした中高年で希望が多いようであった。

### （4）受講した訓練分野の仕事をこなす自信

訓練後に「受講した訓練分野の仕事をこなす自信がついたか」について質問を行った結果、「やや自信がついた」と回答した者が5割弱、次いで「かなり自信がついた」と回答した者が約1割であり、両者を合計すると約6割の者が自信がついたと回答していた。

各要因別に検討した結果、統計的に有意であった結果を整理すると、以下のとおりである。

①年代で概してU字型の関係がみられ、「60代以上」がもっとも自信がついたと回答した割合が高く、以下「10代」「20代」「50代」と続いていた。②学歴では「高校卒」でもっとも自信がついたと回答しており、以下「中学校卒」「大学・大学院」と続いていた。③正規就労経験年数では「なし」の者がもっとも自信がついたとする回答が多く、以下、「1～3年未満」「5年以上」と続いていた。④受講職業訓練期間では「4～5か月未満」の者がもっとも自信がついたと回答した割合が高く、「5～6か月」の者は自信がついたと回答した割合が低かった。⑤制度理由が「求職者支援訓練実施機関で無料のキャリア・コンサルティングを受けられること」だった者は自信がついたと回答した割合が最も高かった。一方、「職業訓練受講給付金があること」が制度利用理由だった者は自信がついたと回答した割合が低かった。⑥受講した訓練分野が「基礎コース」だった者がもっとも自信がついたと回答した割合が高かった。以下、「営業・販売・事務」「理容・美容」と続いていた。一方、「クリエート」を受講した者がもっとも自信がついたと回答した割合が低かった。

#### (5) 求職者支援制度に対する感想

求職者支援制度に対する感想について、「訓練を受けた知識やスキルを役立てたくなった」が9割弱と最も高く、以下「求職者支援制度には満足している」「訓練機関の講師には知識やスキルを十分に教えてもらえた」「訓練を受けて、今後の仕事や生活にやる気や自信が出てきた」「訓練機関に通うことで規則正しい生活が送れるようになった」「同じような立場の同士で交流して、就職に対する気持ちが強まった」などが8割強の割合で続いていた。

もっとも際だった特徴がみられたのは「職業訓練受講給付金を受給できたので助かった」という感想であった。「配偶者なし子供あり」「配偶者なし子供なし」の者、中学校卒・高校卒の者、生計の主な担い手、本人年収・世帯収入・金融資産が「なし」か「0円超100万円以下」の者、生活保護受給者、直近の働き方が派遣社員かパート・アルバイトか自営業・家族従業員の者、非正規就労経験が長い者、求職期間が長い者、雇用保険を受給していない者、訓練期間が5～6か月の者、訓練コースが介護福祉だった者が、給付金を受給できてよかったと回答する割合が高かった。

また、「訓練の授業内容は難しかった」という感想でも特徴が多くみられた。女性、40～50代、配偶者あり子供あり、中学校卒か専修学校・専門学校・各種学校卒、訓練期間が5～6か月、訓練コースが医療事務かクリエートだった者で、授業内容が難しかったという感想が多かった。

その他、「訓練機関の講師には知識やスキルを十分に教えてもらえた」は、配偶者あり子供ありの者、直近の働き方がパート・アルバイトの者、訓練期間が3～4か月未満か4～5か月未満の者、訓練コースが医療事務か基礎コースの者で多い感想であった。

「訓練期間中のキャリア・コンサルティングを十分に受けることができた」は、配偶者あり子供ありか配偶者なし子供ありの者、生計の主な担い手と同居している者、訓練期間が3

～4か月未満の者、訓練コースが基礎コースだった者で多かった。

「求職者支援制度には満足している」は、配偶者あり子供ありの者、生計の主な担い手である者、雇用保険に「加入していなかったため、受給していない」者、訓練コースが4～5か月未満の者、訓練コースが営業・販売・事務だった者で多かった。

「訓練では（もっと）企業実習をやりたかった」は、配偶者なし子供なしの者、最終学歴が中学校卒の者、生計の主な担い手である者、生活保護を受給している者、雇用保険に「加入していなかったため、受給していない」者、訓練期間が5～6か月の者、訓練コースが介護福祉だった者で多かった。

「就職や仕事についての個別相談の時間はもっとあった方が良かった」は、男性、配偶者なし子供なしの者、生活保護を受給している者で多かった。

「訓練を終了したことや取得した資格を応募先にアピールできるようになって良かった」は、女性、配偶者あり子供ありか配偶者なし子供ありの者、訓練コースが医療事務か介護福祉の者で多かった。

「訓練期間に通うことで規則正しい生活が送れるようになった」は、20代、最終学歴が大学・大学院卒の者、訓練コースが3～4か月未満の者、訓練コースが医療事務か理容・美容だった者で多かった。

「同じような立場の人同士で交流して、就職に対する気持ちが強まった」は、20～30代、生計の主な担い手と同居、訓練期間が3～4か月未満の者、訓練コースが医療事務か介護福祉の者で多かった。

「訓練を受けて、今後の仕事や生活にやる気や自信が出てきた」は、配偶者あり子供ありの者、訓練期間が3～4か月未満の者で多かった。

「訓練を受けた知識やスキルを役立てたくなった」は、最終学歴が「大学・大学院卒」で多かった。

「訓練機関では（もっと）実技をやりたかった」は、生活保護を受給している者、訓練コースが介護福祉か理容・美容だった者で多かった。

図表4-64 訓練後の状況・感想に関する結果(まとめ)

(1) 訓練後の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6割弱が「訓練を最後まで受講し、求職活動中」。1割強が「訓練を最後まで受講し、就職が決まった」。</li> <li>・ただし、訓練前調査に回答した者のうち約1/4が訓練後調査に回答しなかった。</li> <li>・「訓練を最後まで受講し、求職活動中」は、正規就労経験5年以上、給付金受給せず、ハローワーク経由で制度を知った者、「基礎コース」を受講した者で多かった。</li> <li>・「訓練を最後まで受講し、就職が決まった」は、女性、子供あり、訓練期間5～6ヶ月、給付金受給者、制度を家族や友人・知人に勧められた者、「介護福祉」を受講した者で多かった。</li> </ul>
(2) 就職支援およびキャリア・コンサルティングで「役に立ったもの」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6割弱が「履歴書の作成指導」「個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)」「ジョブ・カードの作成の支援及び交付」が役だったと回答。</li> <li>・「履歴書の作成指導」が役だったと回答したのは、女性、高校卒、直近の働き方がパート・アルバイト、雇用保険に未加入のため受給していない者、訓練期間3～4か月、「ハローワークで就職支援を受けられること」が利用理由の者、「パート・アルバイト」を希望している者、「基礎コース」または「医療事務」を受講した者に多かった。</li> <li>・「ジョブ・カードの作成の支援及び交付」が役だったと回答したのは、50代60代、正規就労経験5年以上、訓練期間「3～4か月」、制度をハローワーク職員に紹介された者および求職者支援訓練実施機関の広報で知った者、「ハローワークで就職支援を受けられること」が利用理由の者、「基礎コース」を受講した者に多かった。</li> <li>・「面接指導」が役だったと回答したのは、高校卒、生計の担い手と同居、直近の働き方がパート・アルバイト、雇用保険に未加入のため受給していない者、訓練期間「3～4か月」、給付金を申請しなかった者、ハローワーク職員に紹介されて制度を知った者、「基礎コース」または「医療事務」を受講した者に多かった。</li> </ul>
(3) 就職支援およびキャリア・コンサルティングで「もっと受けたかったもの」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2割強が「職場見学、職場体験、企業実習」「個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)」「面接指導」をもっと受けたかったと回答。</li> <li>・「職場見学、職場体験、企業実習」は、訓練期間5～6ヶ月、給付金受給者、「介護福祉」または「理容・美容」を受講した者が希望していた。</li> <li>・「個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)」は、男性、生活保護受給者、正規就労経験なし、制度を家族や友人・知人に勧められた者が希望していた。</li> <li>・「面接指導」は、10～20代、配偶者なし子供なし、生計の担い手と同居、直近の働き方がパート・アルバイトまたは働いた経験がない、非正規就労経験なし、雇用保険に未加入のため受給していない者、訓練期間3～4ヶ月未満、給付金受給せず、「営業・販売・事務」「医療事務」「基礎コース」を受講した者が希望していた。</li> <li>・概して、「履歴書の作成指導」は20代を中心とした若年者、「ジョブ・カードの作成の支援及び交付」「地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)」「外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談」は40代～60代を中心とした中高年で希望が多かったようであった。</li> </ul>
(4) 受講した訓練分野の仕事をこなす自信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練後に「受講した訓練分野の仕事をこなす自信がついたか」について質問を行った結果、「やや自信がついた」と回答した者が約5割弱、次いで「かなり自信がついた」と回答した者が約1割であり、両者を合計すると約6割の者が自信がついたと回答していた。</li> <li>・60代以上または10代、高校卒、正規就労経験なし、訓練期間4～5ヶ月未満、制度理由が無料のキャリア・コンサルティングを受けられることだった者、「基礎コース」を受講した者で自信がついたと回答した割合が高かった。</li> </ul>
(5) 求職者支援制度に対する感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「訓練を受けた知識やスキルを役立てたくなった」が9割弱と最も高く、以下「求職者支援制度には満足している」「訓練機関の講師には知識やスキルを十分に教えてもらった」「訓練を受けて、今後の仕事や生活にやる気や自信が出てきた」「訓練機関に通うことで規則正しい生活が送れるようになった」「同じような立場の人同士で交流して、就職に対する気持ちが強まった」などが8割強の割合で続いていた。</li> <li>・「職業訓練受講給付金を受給できたので助かった」という感想は、配偶者なし子供あり・配偶者なし子供なしの者、中学校卒・高校卒の者、生計の主な担い手、収入・資産なし、生活保護受給者、直近の働き方が非正規もしくは自営業・家族従業員、非正規就労経験が長い者、求職期間が長い者、雇用保険を受給していない者、訓練期間が5～6か月の者、訓練コースが介護福祉だった者で多かった。</li> </ul>

## 7. 訓練後の状況・感想に関する多変量解析による分析結果(総括)

訓練後の状況・感想に関する分析の総括として、多変量解析の手法を用いて要因間の影響関係を抑えた上で、厳密にいかなる要因が各々の結果に影響を与えているかを検討した。

まず、図表4-65は訓練後の状況に関する分析結果であるが、訓練を最後まで受講した上ですぐに就職が決まった者とそうでない者で何が異なるのか、そこに影響を与える要因は何かを検討したものである。本章で取り上げた要因を説明変数としてロジスティック回帰分析を行った結果、最も強く影響を与える要因は訓練分野であり、「介護福祉」で訓練を受けた者が訓練受講後すぐに就職が決まっているようであった。その他、男性よりは「女性」が、

訓練期間は「4か月以上」と長い方がすぐに就職が決まっていることが示された。その他の要因としては、家族形態が「配偶者あり子供あり」の者が、また最近の離職からの期間は短い方が、訓練終了後すぐに就職が決まりやすいようであった。これらの結果を重ね合わせると、夫も子供もいる求職活動を始めてから間もない主婦が、介護福祉など求人が多い業種と結びつきやすい訓練分野で比較的長期にわたって訓練を受けた場合に、訓練終了後すぐに就職が決まっていたということが言える。

図表4-65 訓練後の状況(訓練を最後まで受講後、就職が決定したか否か)に影響を与える要因

	B	Exp(B)	sig.
男性(vs.女性)	-.43	.65	**
年齢	-.12	.89	
家族形態(vs.配偶者なし子供なし)			
配偶者あり子供あり	.38	1.47	*
配偶者あり子供なし	.29	1.34	
配偶者なし子供あり	.32	1.38	
学歴(vs.大学・大学院卒)			
高専・短大卒	.08	1.08	
専門卒	.11	1.11	
高校卒	.03	1.03	
中学卒	-.07	.94	
生計の担い手(vs.生計の担い手でない)	-.06	.94	
世帯年収	-.01	1.00	
生活保護の受給あり(vs.受給なし)	-.48	.62	
正社員・正職員の経験	.07	1.07	
最近の離職からの期間	-.05	.95	*
制度利用理由が職業訓練(vs.訓練以外)	.03	1.03	
訓練期間4ヶ月以上(vs.3~4ヶ月)	.55	1.74	**
訓練コース			
IT分野	-.20	.82	
営業・販売・事務	.05	1.05	
医療事務	.36	1.44	
介護福祉	.95	2.60	**
クリエート・デザイン	-.39	.68	
理容・美容	.42	1.53	
基礎コース	-.20	.82	
定数	-1.56		
説明率	.11		**

※ロジスティック回帰分析。Bは偏回帰係数。Exp(B)はその対数であるが、当該変数の変化によって、どの程度、被説明変数が変化するかを示す指標として解釈することができる。sig.は有意確率。

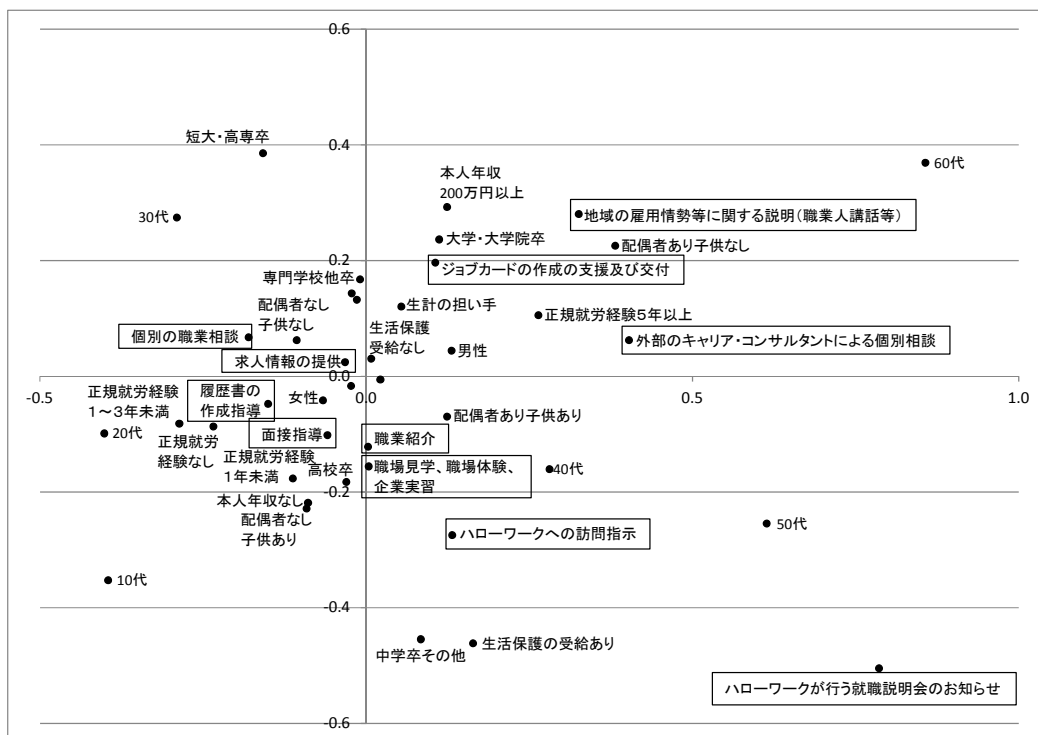
\*\*は.1%水準以下で、\*は5%水準で有意。

次に、図表4-66では、就職支援およびキャリア・コンサルティングで「役に立った」ものが利用者の属性とどのように対応し、結びついているのかを検討するために、コレスポネンズ分析を行った結果である。図は、近隣に布置するものは関連が深く、近い関係にあるものとして解釈することができる。まず、左下は「10代」「20代」で正規就労経験も「なし」「1年未満」「1~3年未満」と短く、昨年の本人年収も「なし」が近傍にある。これらはやはり普通言うところの若年者であり、限りなくフリーターやニートに近い層であると言えるであろう。この利用者層と近い位置にある就職支援およびキャリア・コンサルティングは「履歴書の作成指導」「面接指導」であり、こうした基礎的なキャリア支援が役に立ったと評価されていたことが分かる。

また、右上は「60代」、昨年の本人年収「200万円以上」、「配偶者あり子供なし」、「正規就労経験5年以上」、「生計の担い手」、「大学・大学院卒」、「男性」であり、おおむね、定年まで正規就労で勤めあげて子供も独立した60代男性の像が浮かび上がる。こうした利用者層は「地域の雇用情報等に関する説明（職業人講話等）」「ジョブ・カードの作成の支援及び交付」「外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談」が役に立ったと感じられていたことが分かる。地域にどのような雇用があるのかについて、ジョブ・カードによる自らの職業能力の確認も含めて専門的なキャリア・コンサルタントによる専門的な相談に乗ってもらったことが役立ったと評価されていたと解釈される。

右下も「40代」「50代」といった中高年齢層が目立つが、「配偶者あり子供あり」の者も近くにあり、下方には「生活保護の受給あり」も見える。あえて言えば、右下はいまだ独立していない子供を抱える中高年の失業者と解釈することができる。したがって役に立った支援も「ハローワークが行う就職説明会のお知らせ」「ハローワークへの訪問指示」「職場見学、職場体験、企業実習」「職業紹介」のような、直接、就職に結びつきやすいものを中心となっている。

なお、残った左上に関しては解釈が難しい。ただし、「30代」「短大・高専卒」「配偶者なし子供なし」から浮かび上がる利用者像は、30代未婚で短大卒ということから比較的女性が多い層であるかと思われる。このような利用者層では「個別の職業相談」「求人情報の提供」が役に立ったと感じられていたと解釈できる。



図表4-66 就職支援およびキャリア・コンサルティングで「役に立ったもの」と利用者属性の対応関係(コレスポネンス分析)



以上の結果から、役に立った就職支援およびキャリア・コンサルティングとして、①若年不安定就労層＝履歴書の作成指導、面接指導などの基礎的なキャリア支援、②60代高齢者＝地域の雇用情勢の説明、ジョブ・カードの作成支援、外部キャリア・コンサルタントによる個別相談などの専門的なキャリア支援、③40代・50代のミドルの失業者＝ハローワークの就職説明会、ハローワークへの訪問指示、職場見学、職業紹介などの就職に結びつきやすい支援、④30代未婚女性＝個別の職業相談といった対応関係を、1つの知見として示しうる。

図表4-67 求職者支援制度に対する感想の因子分析

主成分分析(回転なし)	1	2	3	4
訓練の授業内容は難しかった	.12	.07	-.10	<b>.95</b>
訓練機関の講師には知識やスキルを十分に教えてもらった	<b>.65</b>	-.23	-.10	.10
訓練機関では(もっと)実技をやりたいかった	.13	<b>.74</b>	-.01	-.14
訓練では(もっと)企業実習をやりたいかった	.15	<b>.78</b>	.00	.00
訓練機関に通うことで規則正しい生活が送れるようになった	<b>.60</b>	.08	-.17	-.04
訓練を受けた知識やスキルを役立てたくなった	<b>.58</b>	.01	-.18	-.20
訓練を受けて、今後の仕事や生活にやる気や自信が出てきた	<b>.79</b>	-.05	-.11	-.10
訓練期間中のキャリア・コンサルティングを十分に受けることができた	<b>.66</b>	-.19	-.09	.10
就職や仕事についての個別相談の時間ももっとあった方が良かった	.15	<b>.60</b>	-.03	.11
同じような立場の人同士で交流して、就職に対する気持ちが強まった	<b>.68</b>	.08	-.17	.00
職業訓練受講給付金を受給できたので助かった	.19	.09	<b>.90</b>	.08
訓練を修了したことや取得した資格を応募先にアピールできるようになって良かった	<b>.68</b>	-.06	.22	-.06
求職者支援制度には満足している	<b>.66</b>	-.13	.34	.01
説明率	28.0%	12.8%	8.5%	7.8%

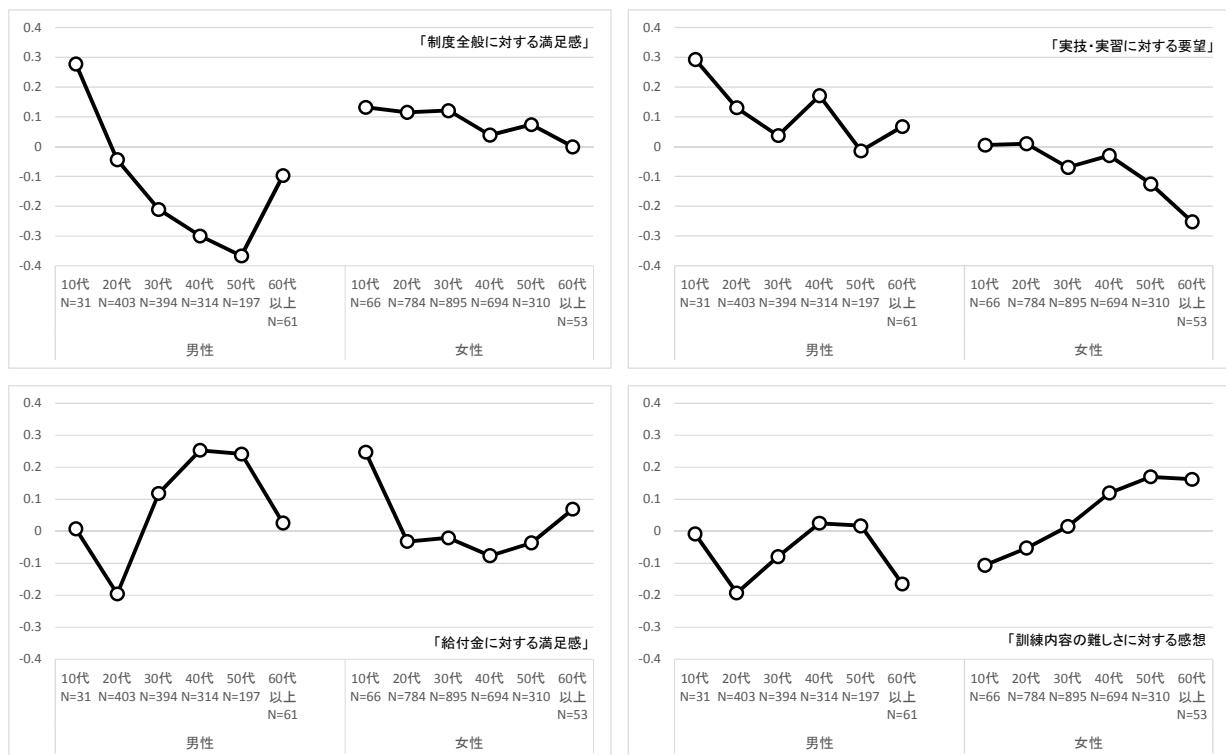
主成分分析(バリマックス回転)	1	2	3	4
訓練の授業内容は難しかった	.06	.06	.00	<b>.96</b>
訓練機関の講師には知識やスキルを十分に教えてもらった	<b>.67</b>	-.14	.05	.14
訓練機関では(もっと)実技をやりたいかった	.04	<b>.76</b>	.01	-.11
訓練では(もっと)企業実習をやりたいかった	.04	<b>.79</b>	.04	.02
訓練機関に通うことで規則正しい生活が送れるようになった	<b>.61</b>	.17	-.04	.01
訓練を受けた知識やスキルを役立てたくなった	<b>.61</b>	.10	-.06	-.14
訓練を受けて、今後の仕事や生活にやる気や自信が出てきた	<b>.80</b>	.07	.05	-.04
訓練期間中のキャリア・コンサルティングを十分に受けることができた	<b>.67</b>	-.10	.06	.14
就職や仕事についての個別相談の時間ももっとあった方が良かった	.06	<b>.61</b>	.02	.13
同じような立場の人同士で交流して、就職に対する気持ちが強まった	<b>.68</b>	.18	-.02	.06
職業訓練受講給付金を受給できたので助かった	-.02	.08	<b>.92</b>	.01
訓練を修了したことや取得した資格を応募先にアピールできるようになって良かった	<b>.62</b>	.03	.36	-.04
求職者支援制度には満足している	<b>.59</b>	-.05	.47	.01
説明率	26.8%	13.0%	9.4%	7.8%

さらに、図表4-67では、求職者支援制度に対する感想はいくつかのより少ない主成分に集約できそうだったので、主成分分析を行った結果を示した(参考のため回転なしの結果とバリマックス回転ありの結果を示した)。

表から、第1主成分は「訓練を受けて、今後の仕事や生活にやる気や自信が出てきた」「同じような立場の人同士で交流して、就職に対する気持ちが強まった」「訓練を修了したことや取得した資格を応募先にアピールできるようになって良かった」「訓練機関の講師には知識やスキルを十分に教えてもらった」などの項目の数値が高く、求職者支援制度の全般にわたっていたため「制度全般に対する満足感」の主成分と解釈できる。第2主成分は「訓練機関で

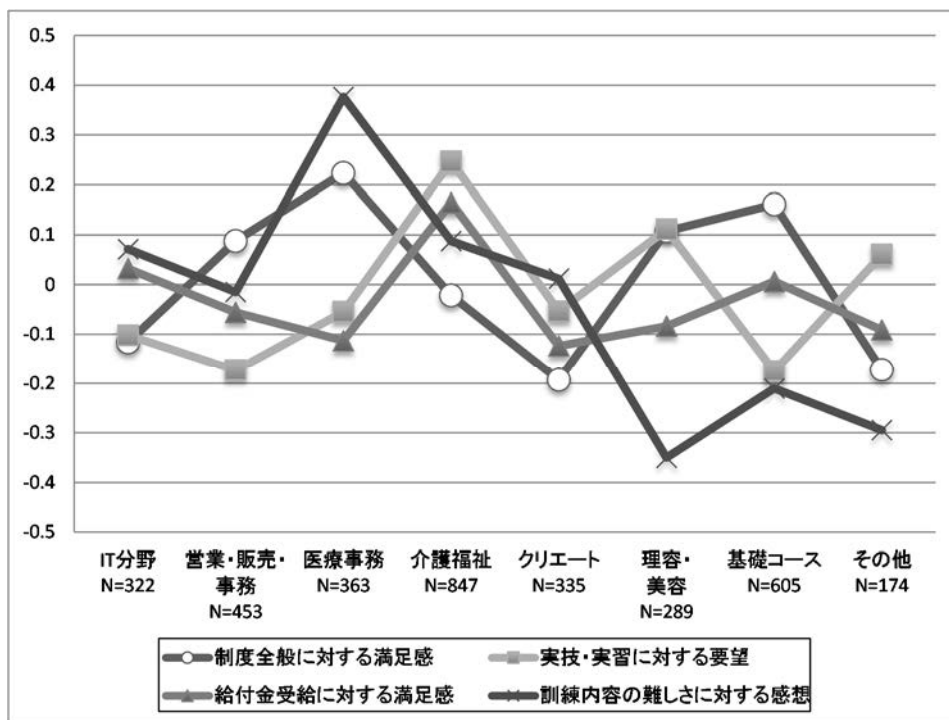
は（もっと）実技をやりたかった」「訓練では（もっと）企業実習をやりたかった」「就職や仕事についての個別相談の時間はもっとあった方が良かった」などの項目の数値が高く、「実技・実習に対する要望」の主成分と解釈できる。第3主成分は「職業訓練受講給付金を受給できたので助かった」の項目の数値が突出して高く、「給付金受給に対する満足感」の主成分と解釈できる。同様に、第4主成分も「訓練の授業内容は難しかった」の項目の数値が突出して高く、「訓練内容の難しさに対する感想」の主成分と解釈できる。

図表4-68には、求職者支援制度に対する感想の主成分得点（図表4-67の主成分分析結果をもとに算出）について性別・年齢別に平均値を求めて図示した。これらの図から、以下の4点を指摘できる。①「制度全般に対する満足感」は、男性で年代別の差が激しい。特に、10代男性が最も満足感が高く、年齢が上がるにしたがって満足感が低くなり、60代男性で再び上昇している。一方で、女性ではそのような年代差がみられない。②「実技・実習に対する要望」は概して、男性の方が高い。また、やや年代別の違いみられており、年齢が若い方が高い方に比べて実技や実習に対する要望が高いようであった。③「給付金に対する満足感」は、性別と年代の特徴が著しくみられており、男性では30～40代の中高年において満足感が高い。一方で、女性では10代（および60代）で満足感が高い。④「訓練内容の難しさに対する感想」は、特に女性の中高年層で高い。



図表4-68 求職者支援制度に対する感想の主成分得点の性別・年齢別の平均値

また、図表4-69には、求職者支援制度に対する感想の主成分得点の訓練分野別の平均値を求めて図示した。これらの図から、総じて、「制度全般に対する満足感」が高い「基礎コース」、「実技・実習に対する要望」が高い「介護福祉」、「訓練内容の難しさに対する感想」が高い「医療事務」といった特徴を指摘できる。その他、細かくみた場合、以下の諸点を指摘できる。①「制度全般に対する満足感」は「基礎コース」の他に「営業・販売・事務」「医療事務」でも高い。②「実技・実習に対する要望」は「介護福祉」の他に「理容・美容」「その他」でも高い。③「給付金受給に対する満足感」は「介護福祉」で高い。④「訓練内容の難しさに対する感想」は「医療事務」の他に「介護福祉」「IT分野」などでも高い。



図表4-69 求職者支援制度に対する感想の訓練分野別の平均値